

北陸圏広域地方計画の推進について  
令和6年度の取組

令和8年3月  
北陸圏広域地方計画協議会



# 目 次

1. 概要・あらまし .....	1
1.1 北陸圏広域地方計画について .....	1
1.1.1 計画の概念 .....	1
1.1.2 計画の概要 .....	2
2. 北陸圏広域地方計画の推進状況について .....	23
2.1 計画の進捗管理【プロジェクトの推進】 .....	23
2.1.1 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト .....	23
2.1.2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト .....	37
2.1.3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト .....	44
2.1.4 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト .....	51
2.1.5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト .....	58
2.1.6 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト .....	62
2.1.7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト .....	69
2.1.8 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト .....	75
2.1.9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト .....	79

# 1. 概要・あらし

## 1.1 北陸圏広域地方計画について

### 1.1.1 計画の概念

北陸圏広域地方計画は、国土形成計画法第9条に基づき、全国レベルの「国土形成計画」を踏まえ各地方ブロックごとに方針・目標・施策を定めるもので、北陸圏の2050年頃までを展望しつつ、今後概ね10ヶ年間の国土形成に係る基本的な計画である。

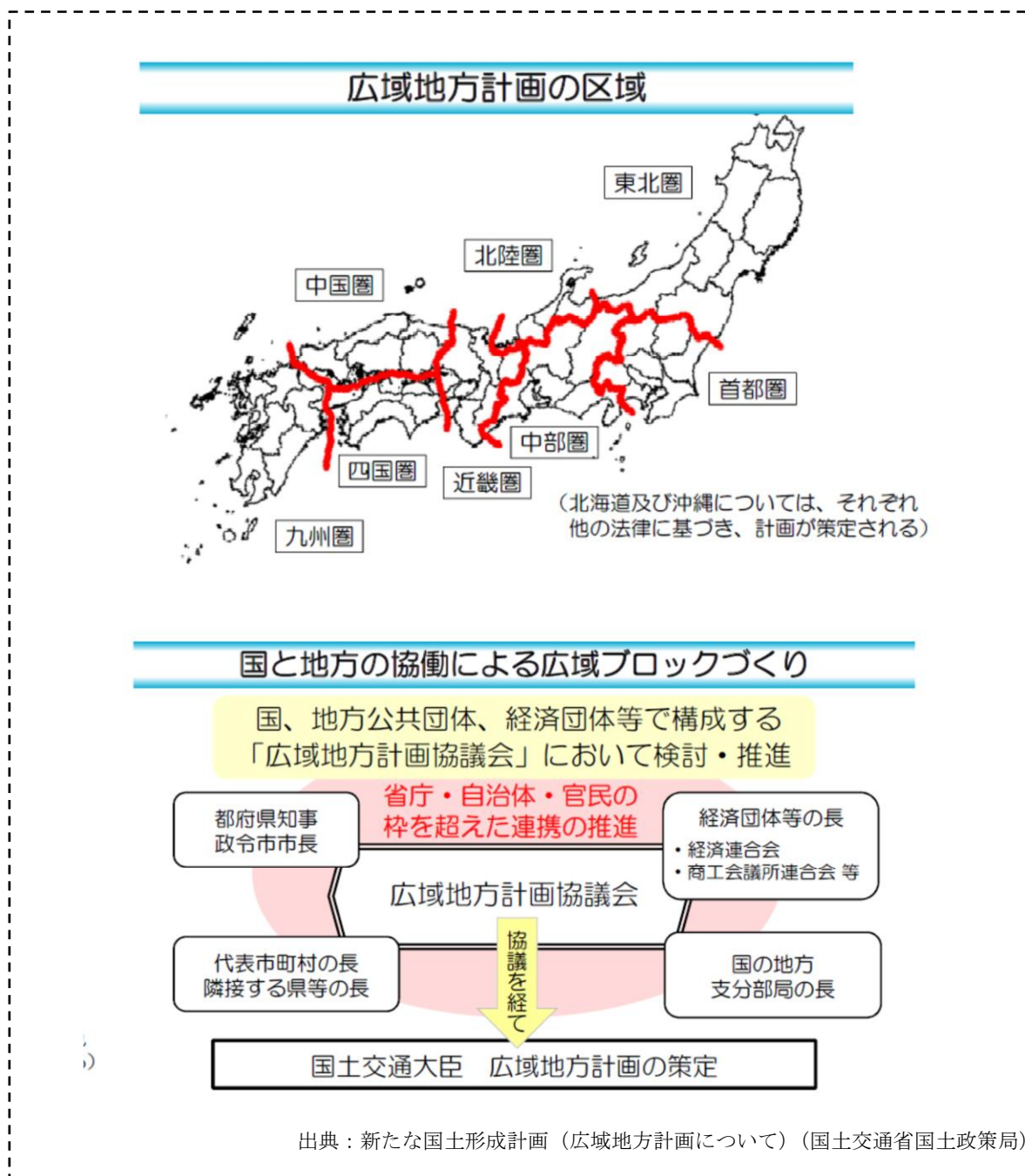


図 1 広域地方計画の概要

## 1.1.2 計画の概要

### (1) 北陸圏の現状

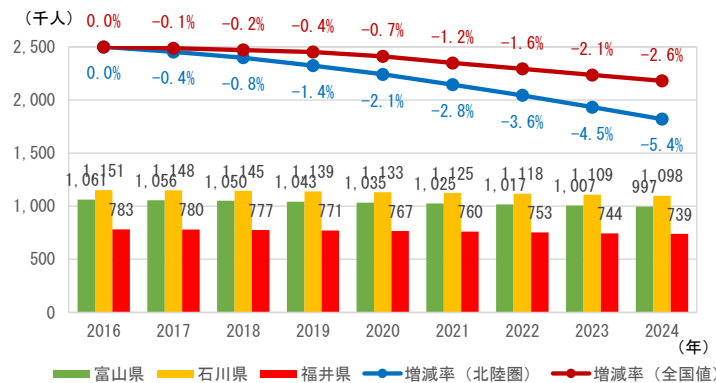
北陸圏を取り巻く現状を、人口、域内総生産、海上出入貨物量、延べ宿泊者数等を用いて整理し、全国における北陸圏の位置づけを把握する。

なお、統計データは2025年12月末時点の公表データを用いている。

#### 1) 人口動態

##### ① 人口、人口増減

北陸圏の2024年(令和6年)における人口は、2016年(平成28年)と比較すると5.4%減少しており、全国値(2.6%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



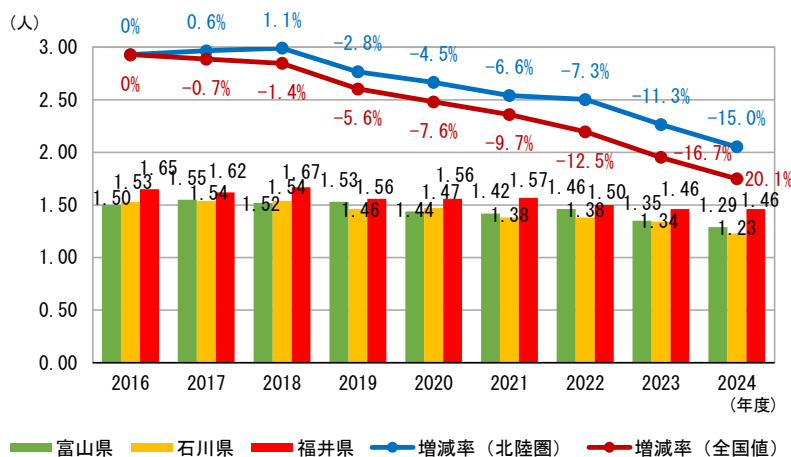
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：総務省「人口推計」 総人口(男女計)各年10月1日現在

図2 北陸圏 人口、人口前年増減の推移

##### ② 合計特殊出生率

北陸圏の2024年(令和6年)における合計特殊出生率は、2016年(平成28年)と比較すると15.0%減少しており、全国と同様に年々減少している傾向にある。



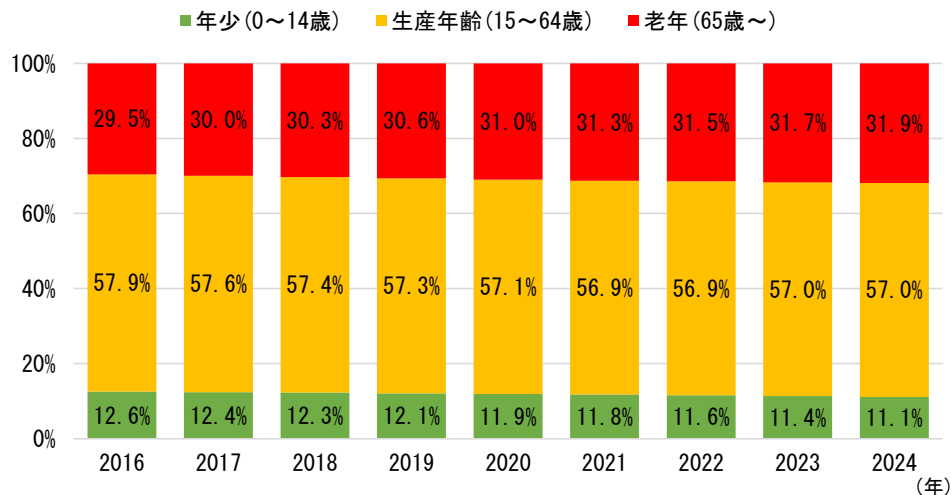
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「人口動態統計」

図3 北陸圏 合計特殊出生率の推移

### ③ 総人口に占める年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合

2024年(令和6年)の年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合は、それぞれ11.1%、57.0%、31.9%であり、2023年(令和5年)と比較すると、高齢者人口が0.2ポイント増加、生産年齢人口が横ばいであった一方で、年少人口は0.3ポイント減少している。



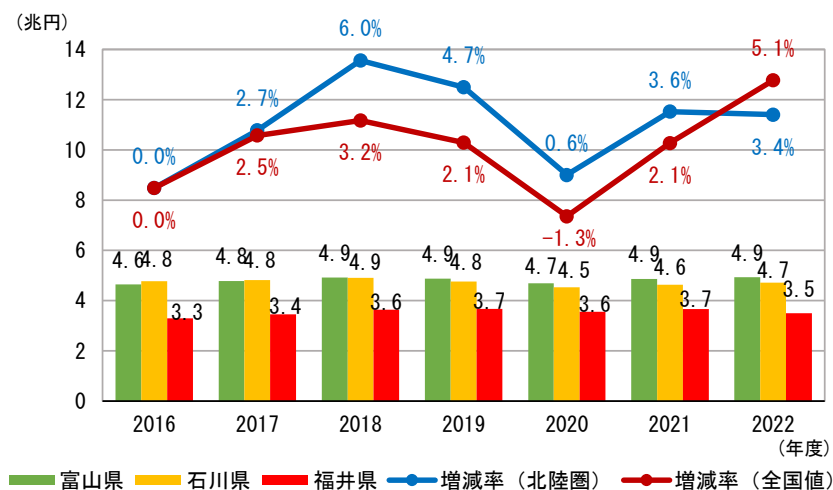
出典：総務省「人口推計」 各年10月1日現在の人口

図4 北陸圏 総人口に占める年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合の推移

## 2) 経済・産業

### ① 域内総生産(名目)

北陸圏の2022年度(令和4年度)における域内総生産(名目)は、2016年度(平成28年度)と比較すると3.4%増加しており、全国値(5.1%増加)も同様に増加している。



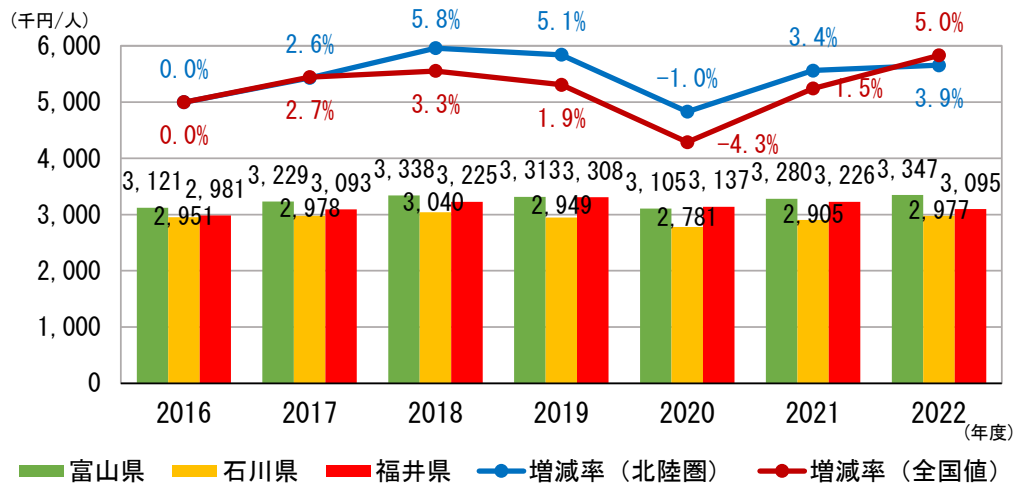
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：内閣府「県民経済計算」

図5 北陸圏 域内総生産(名目)の推移

## ② 人口1人あたり県民所得

北陸圏の2022年度(令和4年度)における人口1人あたり県民所得は、2016年度(平成28年度)と比較すると3.9%増加しており、全国値(5.0%増加)も同様に増加している。



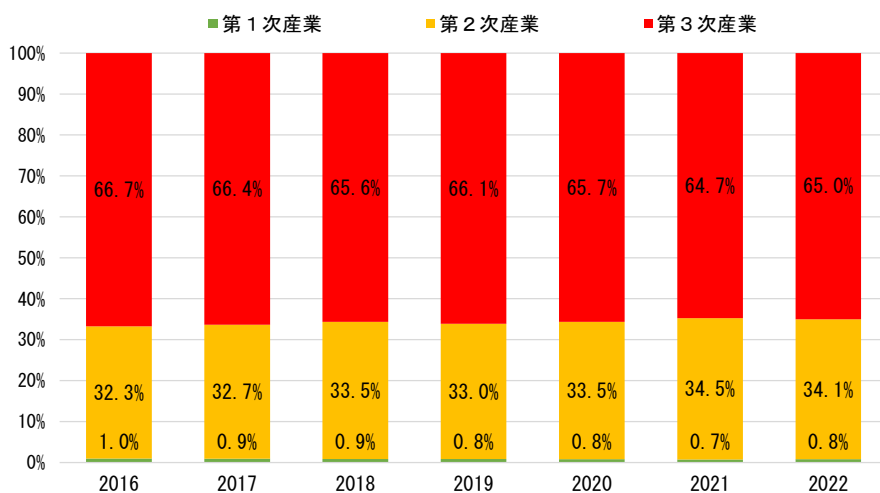
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：内閣府「県民経済計算」、総務省「人口推計」

図6 北陸圏 人口1人あたり県民所得の推移

## ③ 経済活動別総生産の割合(第1次～第3次)

第1次、第2次、第3次産業の総生産割合は、2022年度(令和4年度)でそれぞれ0.8%、34.1%、65.0%であり、2016年度(平成28年度)比で第1次産業が0.2ポイント減少、第2次産業が1.8ポイント増加、第3次産業が1.7ポイント減少している。

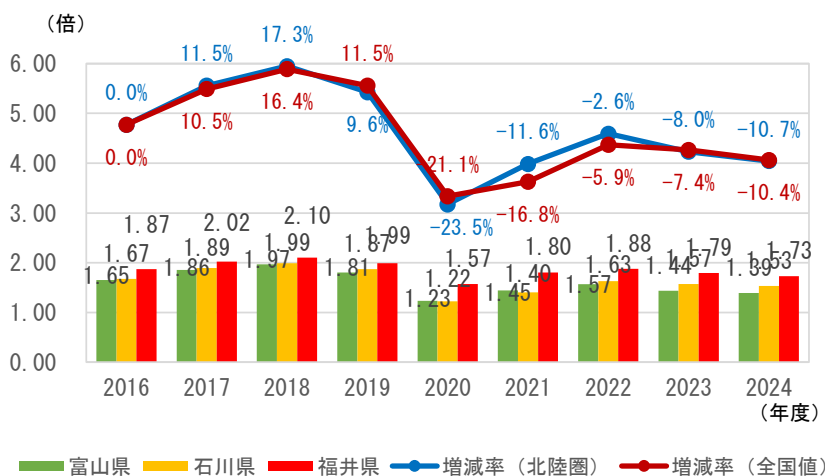


出典：内閣府「県民経済計算年報」

図7 北陸圏 経済活動別総生産の割合(第1次～第3次)の推移

#### ④ 有効求人倍率

北陸圏の2024年(令和6年)の有効求人倍率は、2016年(平成28年)と比較すると10.7%減少しており、全国値(10.4%減少)も同様に減少している。



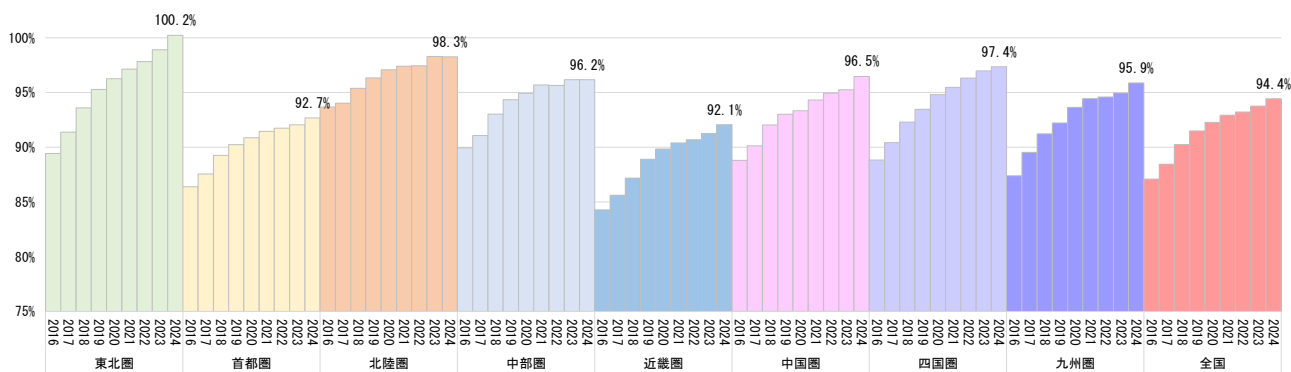
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

図8 北陸圏 有効求人倍率の推移

#### ⑤ 生産年齢人口あたり労働力人口の割合(圏域別)

北陸圏では、2024年(令和6年)で98.3%となり、全国平均(94.4%)より3.9ポイント高い割合となっている。

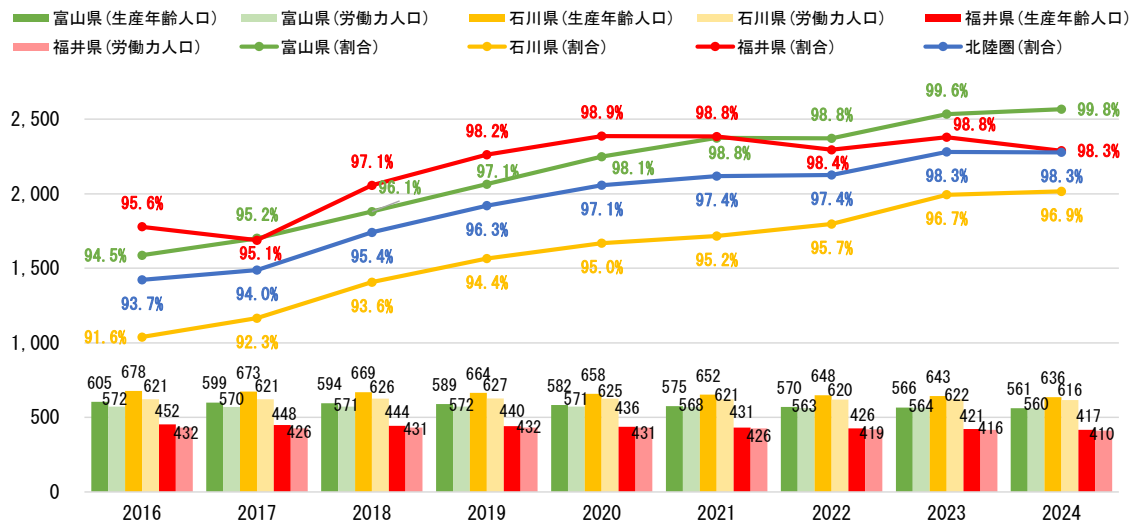


出典：総務省「労働力調査」、総務省「人口推計」

図9 生産年齢人口あたり労働力人口の割合の推移(圏域別)

### ⑥ 生産年齢人口あたり労働力人口の割合（北陸圏）

北陸圏の各県では、2024年(令和6年)において生産年齢人口及び労働力人口が最も多い県は、石川県(636千人、616千人)となっている。一方、生産年齢人口に占める労働力人口の割合は富山県(99.8%)が最も高くなっている。



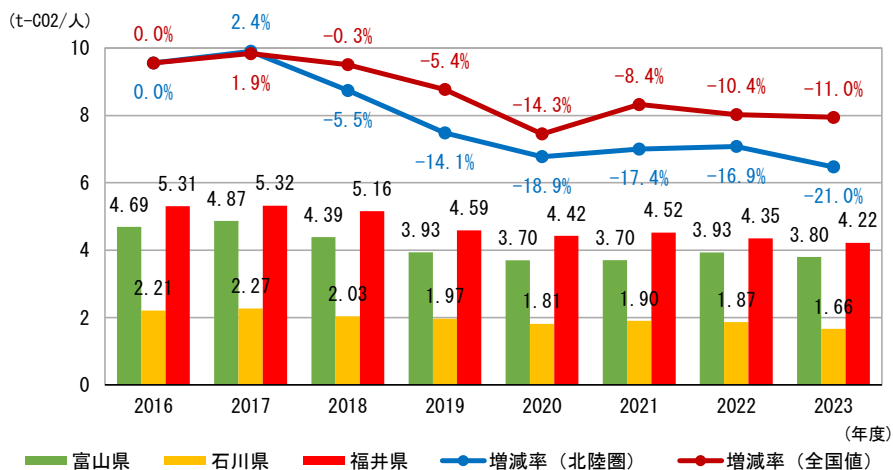
出典：総務省「労働力調査」、総務省「人口推計」

図 10 生産年齢人口及び労働力人口とその割合の推移（北陸圏）

### 3) 環境

#### ① 人口1人あたり温室効果ガス算定排出量（特定事業者）

北陸圏の2023年度(令和5年度)における人口1人あたり温室効果ガス算定排出量(特定事業者)は、2016年度(平成28年度)と比較すると21.0%減少しており、全国値(11.0%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



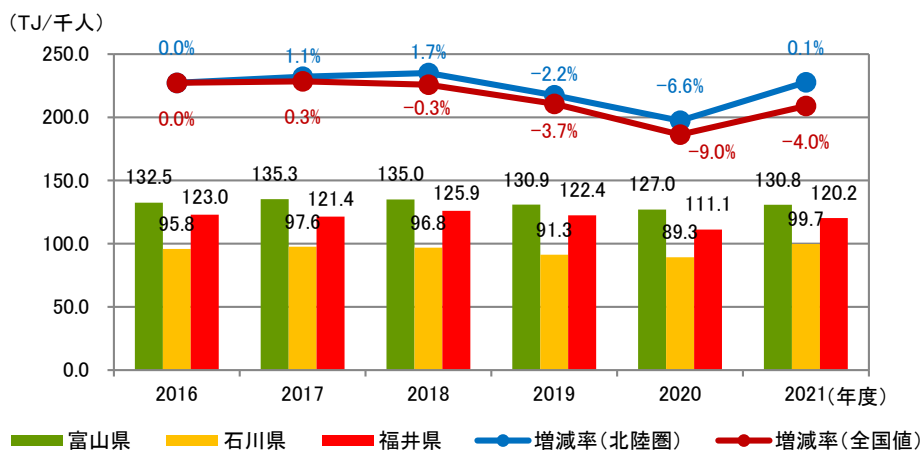
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：環境省「温室効果ガス排出量の集計結果」、総務省「人口推計」

図 11 北陸圏 人口1人あたり温室効果ガス算定排出量（特定事業者）の推移

## ② 人口千人あたりエネルギー消費量

北陸圏の2021年度(令和3年度)における人口千人あたりエネルギー消費量は、2016年度(平成28年度)と比較すると0.1%増加しており、全国値(4.0%減少)は減少傾向である。



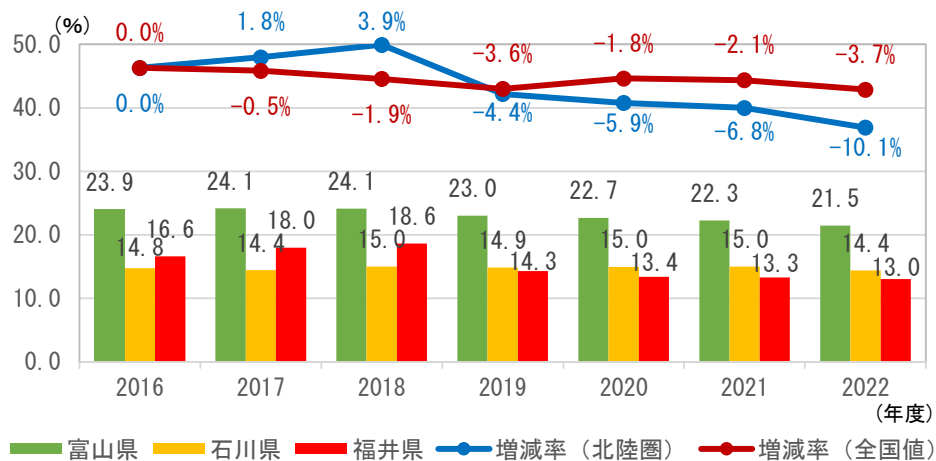
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」(2021年度は暫定値)、総務省「人口推計」

図12 北陸圏 人口千人あたりエネルギー消費量の推移

## ③ リサイクル率

北陸圏の2022年度(令和4年度)におけるリサイクル率は、2016年度(平成28年度)と比較すると10.1%減少しており、全国値(3.7%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

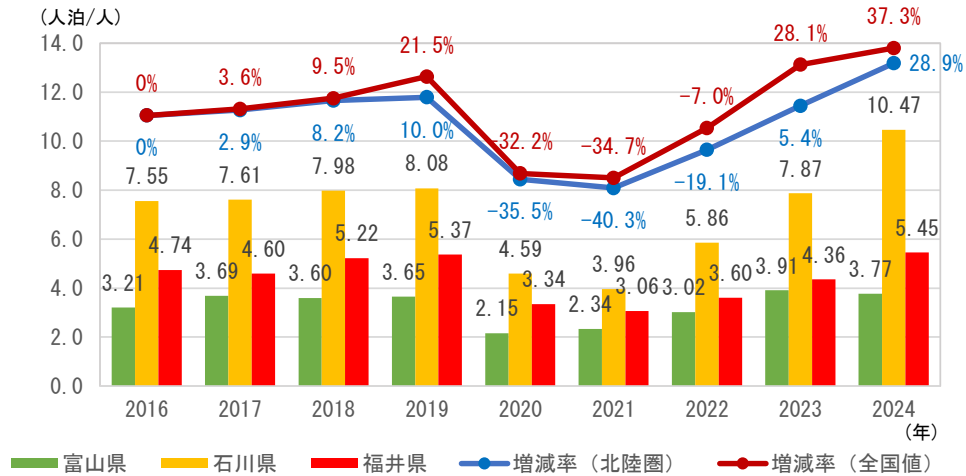
出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

図13 北陸圏 リサイクル率の推移

#### 4) 観光・歴史文化

##### ① 人口1人あたり延べ宿泊者数

北陸圏の2024年(令和6年)における人口1人あたり延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して28.9%増加しており、コロナ禍により大幅に減少していた人口1人あたり延べ宿泊者数がコロナ禍前の2019年(令和元年)よりも上回る水準まで回復傾向で、全国値(37.3%増加)もほぼ同様な傾向となっている。

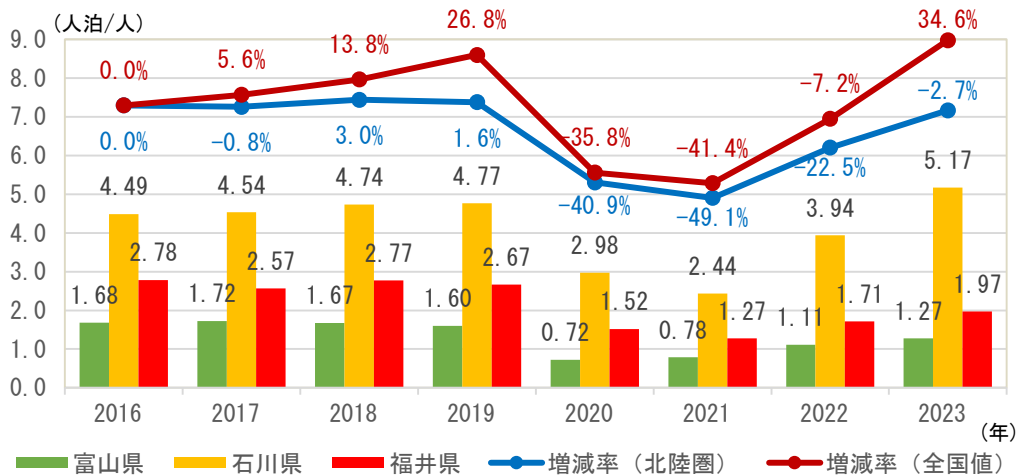


※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図14 北陸圏 人口1人あたり延べ宿泊者数の推移

##### 【参考】人口1人あたり延べ観光宿泊者数



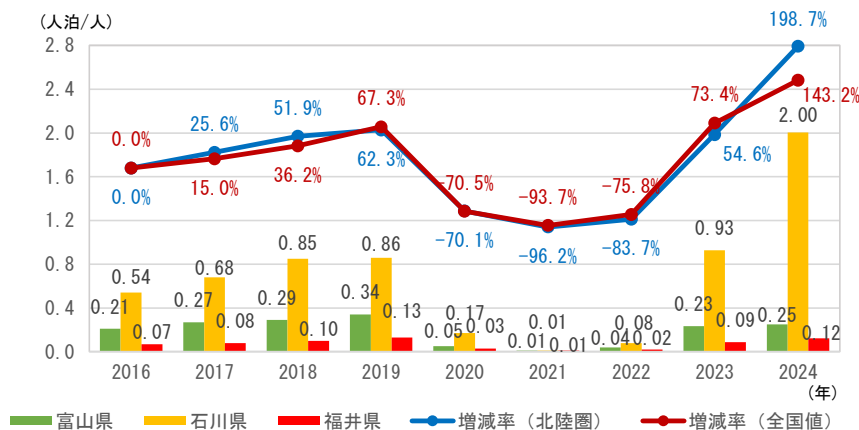
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図15 北陸圏 人口1人あたり延べ観光宿泊者数の推移

## ② 人口1人あたり外国人延べ宿泊者数

北陸圏の2024年(令和6年)における人口1人あたり外国人延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して198.7%増加しており、コロナ禍により大幅に減少していた人口1人あたり外国人延べ宿泊者数がコロナ禍前の2019年(令和元年)よりも上回る水準まで回復傾向で、全国値(143.2%増加)もほぼ同様な傾向となっている。



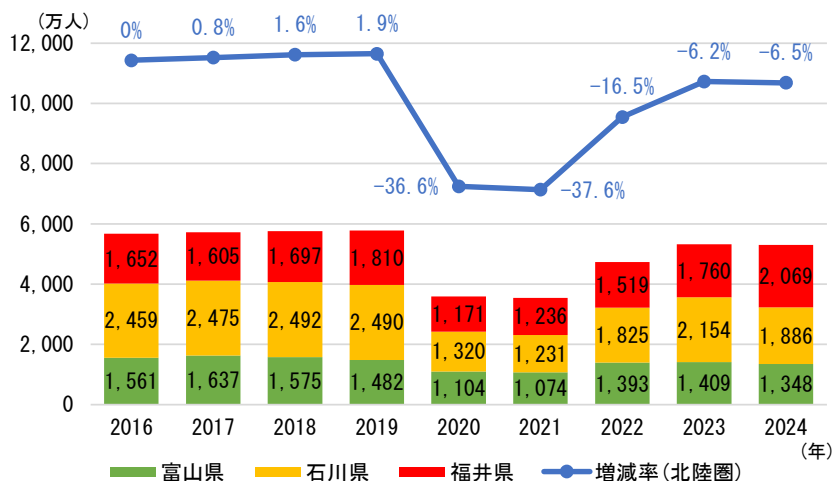
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図 16 北陸圏 人口1人あたり外国人延べ宿泊者数の推移

## ③ 観光入込客数

北陸圏の2024年(令和6年)における観光入込客数は、2016年(平成28年)と比較して6.5%減少しており、コロナ禍前の2019年(令和元年)の水準まで回復傾向がうかがえる。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：富山県「富山県観光客入込数(推計)」

石川県「統計からみた石川県の観光」

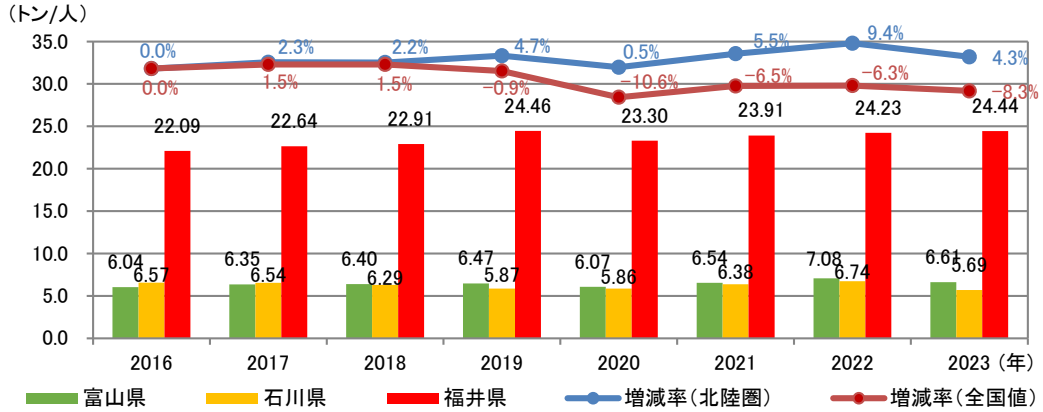
福井県「福井県観光客入込数(推計)」

図 17 北陸圏 観光入込客数の推移

5) 物流・交流

① 人口1人あたり港湾の取扱貨物量

北陸圏の2023年(令和5年)における人口1人あたり港湾の取扱貨物量は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.3%増加しており、全国値(8.3%減少)は減少傾向である。



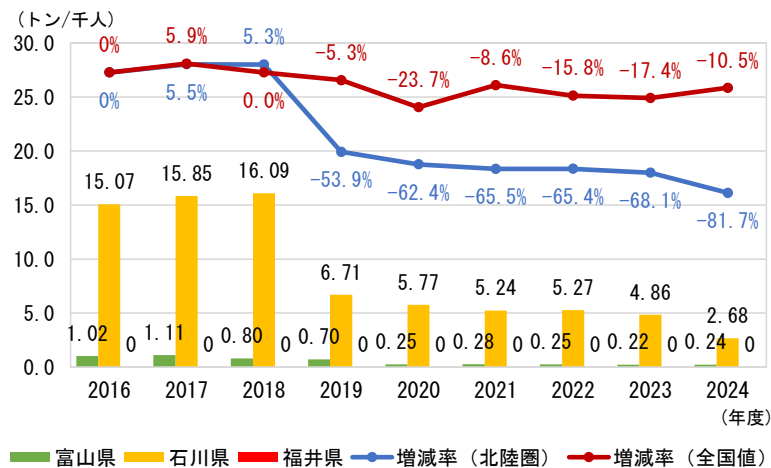
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」、総務省「人口推計」

図 18 北陸圏 港湾の取扱貨物量 (人口1人あたり港湾の取扱貨物量) の推移

② 人口千人あたり空港の貨物取扱量

北陸圏の2024年度(令和6年度)における人口千人あたり空港の貨物取扱量は、2016年度(平成28年度)と比較すると81.7%減少しており、全国値(10.5%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

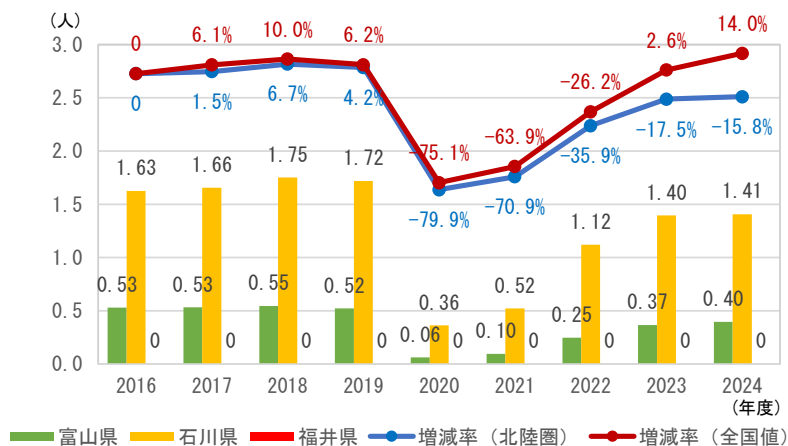
出典：国土交通省「空港管理状況」、総務省「人口推計」

図 19 北陸圏 人口千人あたり空港の貨物取扱量の推移

### ③ 人口1人あたり空港の乗降客数

北陸圏の2024年(令和6年)における人口1人あたり空港の乗降客数は、2016年度(平成28年度)と比較すると15.8%減少しており、全国値(14.0%増加)は増加傾向である。

※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

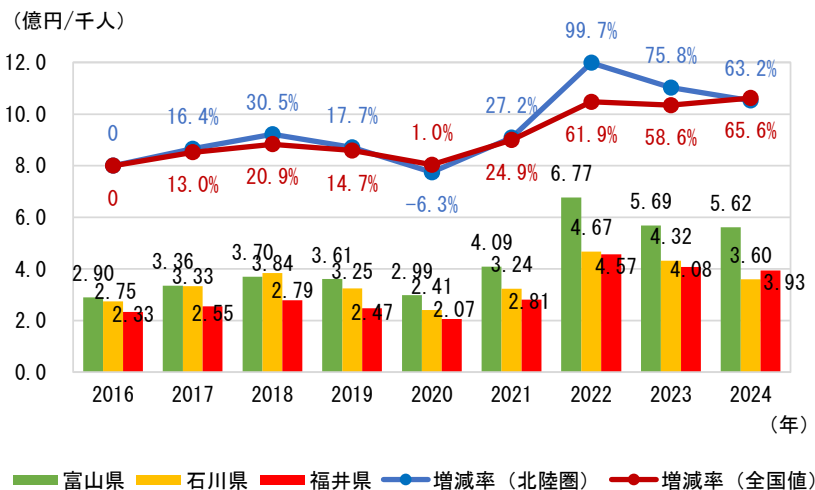


出典：国土交通省「空港管理状況」、総務省「人口推計」

図 20 北陸圏 人口1人あたり空港の乗降客数の推移

### ④ 人口千人あたり貿易額

北陸圏の2024年(令和6年)における人口千人あたり貿易額は、2016年(平成28年)と比較すると63.2%増加しており、全国値(65.6%増加)も同様に増加している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

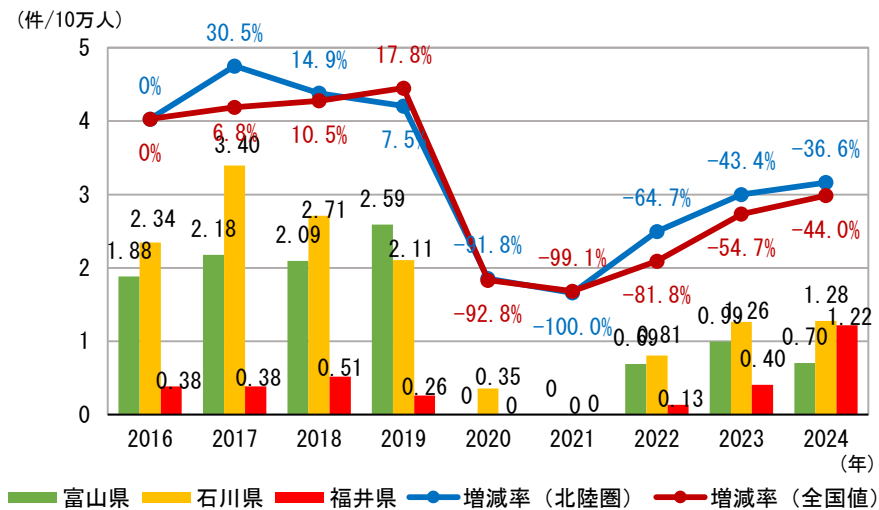
出典：財務省「貿易統計」、総務省「人口推計」

図 21 北陸圏 人口千人あたり貿易額の推移

### ⑤ 人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数

北陸圏の 2024 年(令和 6 年)における人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数は、2016 年(平成 28 年)と比較すると 36.6%減少しており、全国値(44.0%減少)も同様に減少している。

※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算



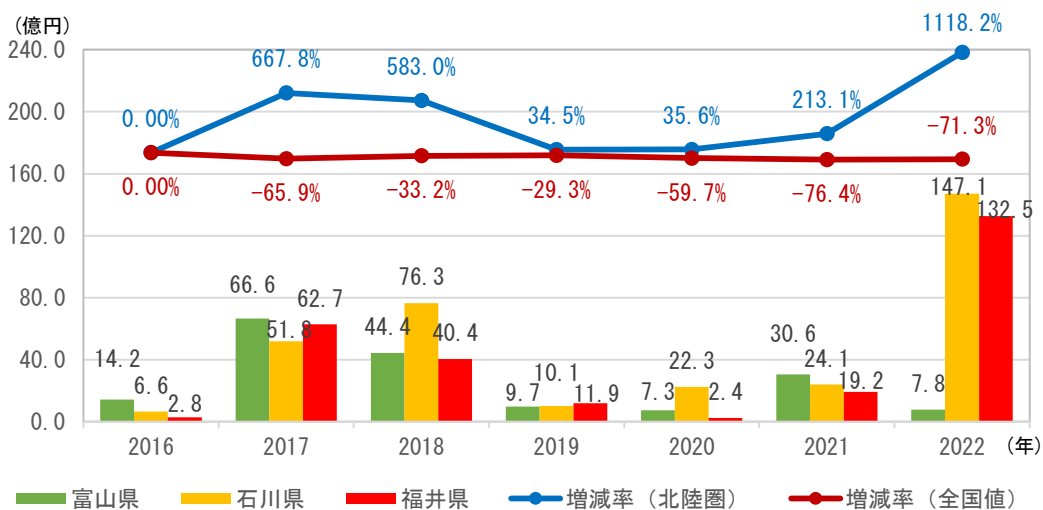
出典：日本政府観光局「国際会議統計」、総務省「人口推計」

図 22 北陸圏 人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数の推移

### 6) 防災・社会資本整備

#### ① 自然災害による被害総額

北陸圏の 2022 年(令和 4 年)における自然災害による被害総額は、約 287.4 億円(富山県:7.8 億円、石川県:147.1 億円、福井県:132.5 億円)となっている。



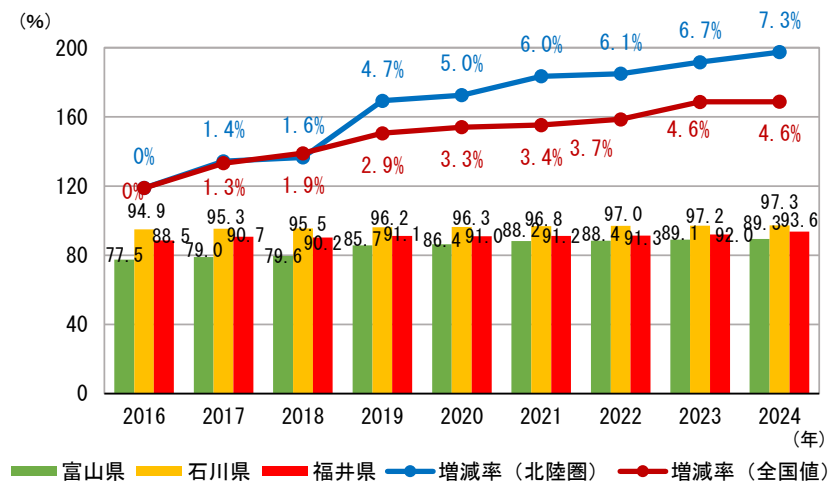
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：消防庁「消防白書」

図 23 北陸圏 自然災害による被害総額の推移

## ② 自主防災組織活動カバー率

北陸圏の2024年(令和6年)における自主防災組織活動カバー率は、2016年(平成28年)と比較すると7.3%増加しており、全国値(4.6%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

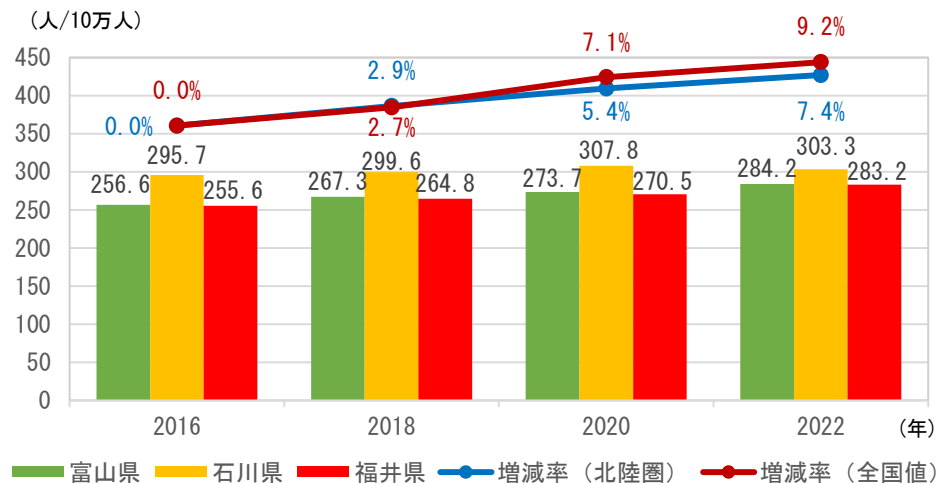
出典：消防庁「消防白書」

図 24 北陸圏 自主防災組織活動カバー率の推移

## 7) 医療福祉

### ① 人口10万人あたり医師数

北陸圏の2022年(令和4年)における人口10万人あたり医師数は、2020年(令和2年)と比較すると7.4%増加しており、全国値(9.2%増加)も同様に増加している。



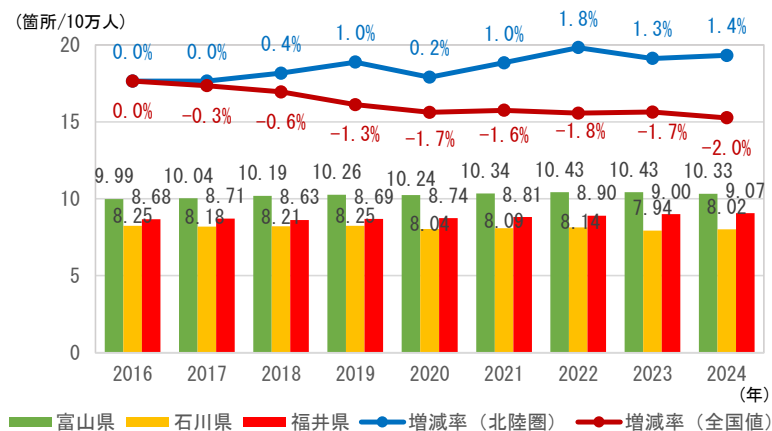
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、総務省「人口推計」

図 25 北陸圏 人口10万人あたり医師数の推移

## ② 人口 10 万人あたり一般病院数

北陸圏の 2024 年(令和 6 年)における人口 10 万人あたり一般病院数は、2016 年(平成 28 年)と比較すると 1.4%増加しており、全国値(2.0%減少)は減少傾向である。



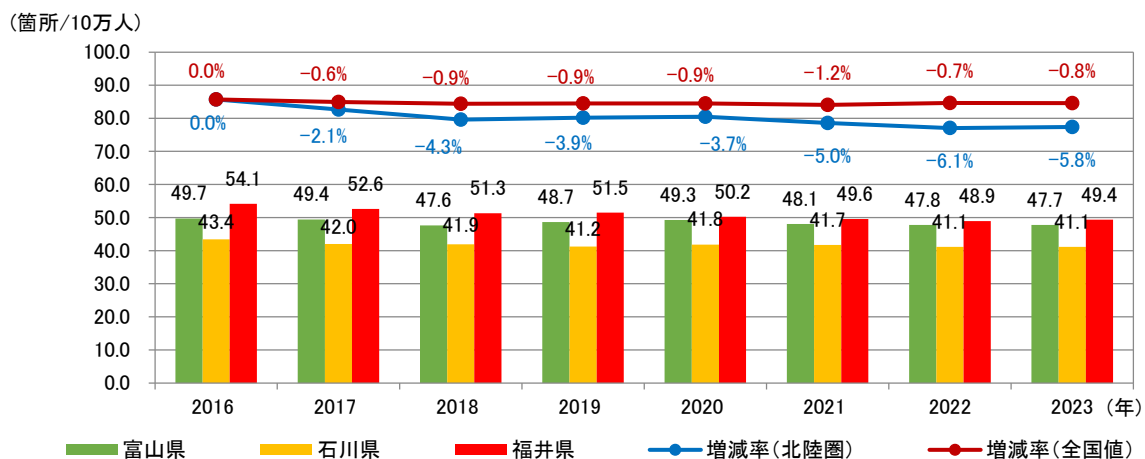
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「医療施設調査」、総務省「人口推計」

図 26 北陸圏 人口 10 万人あたり一般病院数の推移

## ③ 高齢者(65 歳以上)人口 10 万人あたり介護施設数

北陸圏の 2023 年(令和 5 年)における高齢者(65 歳以上)人口 10 万人あたり介護施設数は、2016 年(平成 28 年)と比較すると 5.8%減少しており、全国値(0.8%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



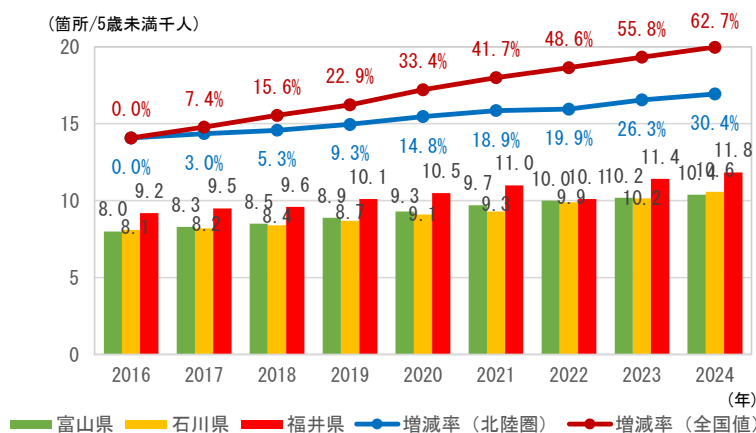
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」、総務省「人口推計」

図 27 北陸圏 高齢者(65 歳以上)人口 10 万人あたり介護施設数の推移

#### ④ 5歳未満人口千人あたり保育所数

北陸圏の2024年(令和6年)における5歳未満人口千人あたり保育所数は、2016年(平成28年)と比較すると30.4%増加しており、全国値(62.7%増加)よりも増加している割合が低くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

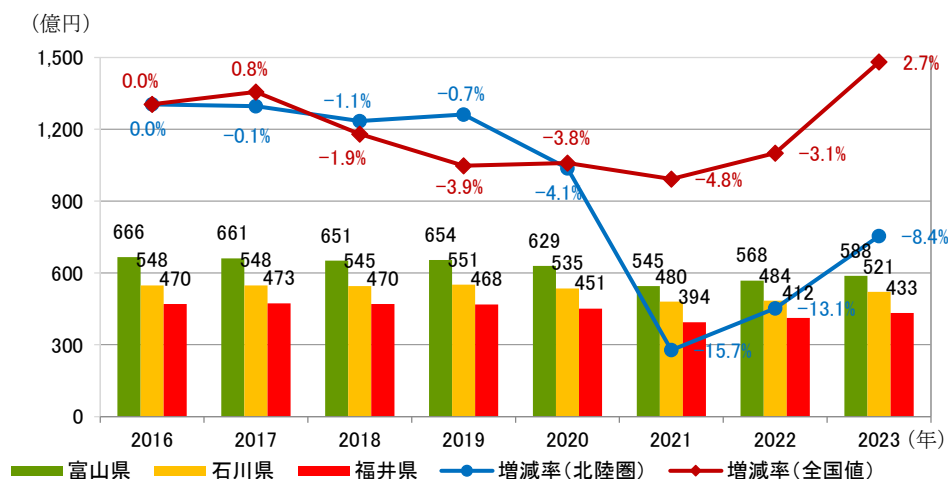
出典：厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」、総務省「人口推計」

図 28 北陸圏 5歳未満人口千人あたり保育所数の推移

#### 8) 農業・食料

##### ① 農業産出額

北陸圏の2023年(令和5年)における農業産出額は、2016年(平成28年)と比較すると8.4%減少しており、全国値(2.7%増加)は増加傾向である。



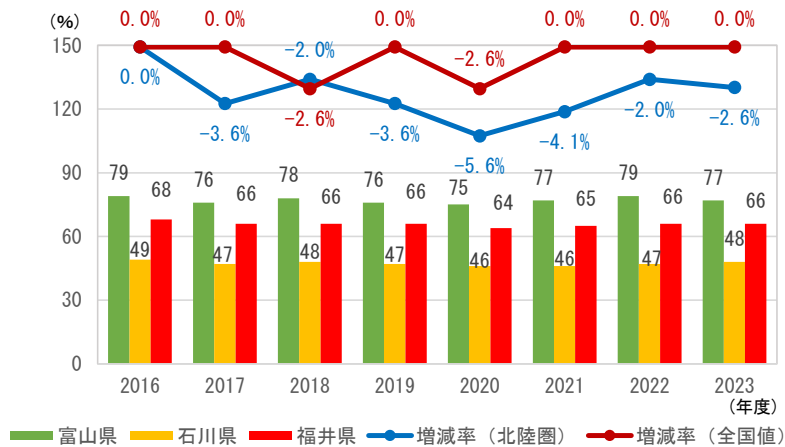
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

図 29 北陸圏 農業産出額の推移

## ② 食料自給率（カロリーベース）

北陸圏の2023年度(令和5年度)における食料自給率(カロリーベース)は、2016年度(平成28年度)と比較すると2.6%減少しており、全国値(0.0%増加)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算  
 出典：農林水産省「都道府県別食料自給率の推移(カロリーベース)」※2023年度は概算値

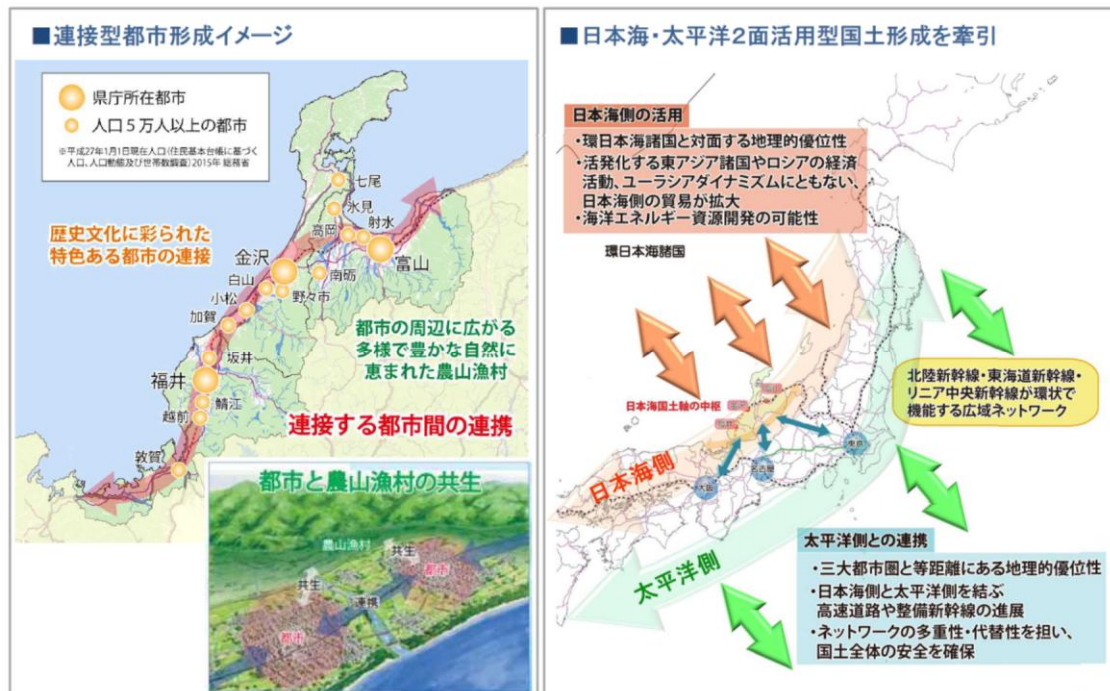
図 30 北陸圏 食料自給率(カロリーベース)の推移

## (2) 北陸圏の目指すべき将来像

北陸圏は、優れた地域資源を圏域内の連携により磨き上げることで、自立的な発展を図るだけでなく、立地特性を活かし、人口規模や面積等は小さいながらも、環日本海諸国を始めとする東アジアや国内外との対流・交流・連携を進めることにより、我が国の持続的な発展を先導する、日本海側における対流・交流の中核圏域としての役割を果たしていく。すなわち、北陸圏を「厳しくも豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との対流・交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域」と位置付け、新しい国土像の構築に寄与していく。具体的には、以下に示す2つを将来像として掲げ、国、地方公共団体及び多様な民間主体が相互に連携し、特色ある地域の形成に向けた戦略を展開する。

<2つの将来像>

- (1) 暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く新・北陸
- (2) 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する新・北陸



出典：新たな「北陸圏広域地方計画」説明資料（北陸圏広域地方計画推進室）

図 31 北陸圏の目指すべき将来像

### (3) 新しい将来像の実現に向けた目標・戦略

日本海国土軸の中核圏域を形成するための2つの将来像を効果的・戦略的に実現するため、国、地方公共団体、経済界等の多様な主体が協力・強調して北陸圏のポテンシャルを活かした施策や事業を展開できるよう、より具体的な目標・戦略を設定する。具体的には、2つの将来像に対して以下に示す4つの目標を整理し、その実現に向けた12の戦略を掲げている。

#### <4つの目標と12の戦略>

##### 【目標1】個性ある北陸圏の創生

戦略1：親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等誰もが暮らしやすい生活環境の充実

戦略2：本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実

戦略3：多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致

戦略4：風水害・土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実

戦略5：豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応

##### 【目標2】競争力のある産業の育成

戦略6：集積する同業種・異業種や高等教育機関の接続都市間での対流と交通・ICTネットワーク環境の充実

戦略7：太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化

戦略8：圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化

##### 【目標3】日本海側の中核圏域の形成

戦略9：市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化

戦略10：太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化

##### 【目標4】対流・交流人口の創出

戦略11：多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルートの充実

戦略12：北陸新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米豪、アジアの新興国等の国内外観光客誘客促進と魅力の発信

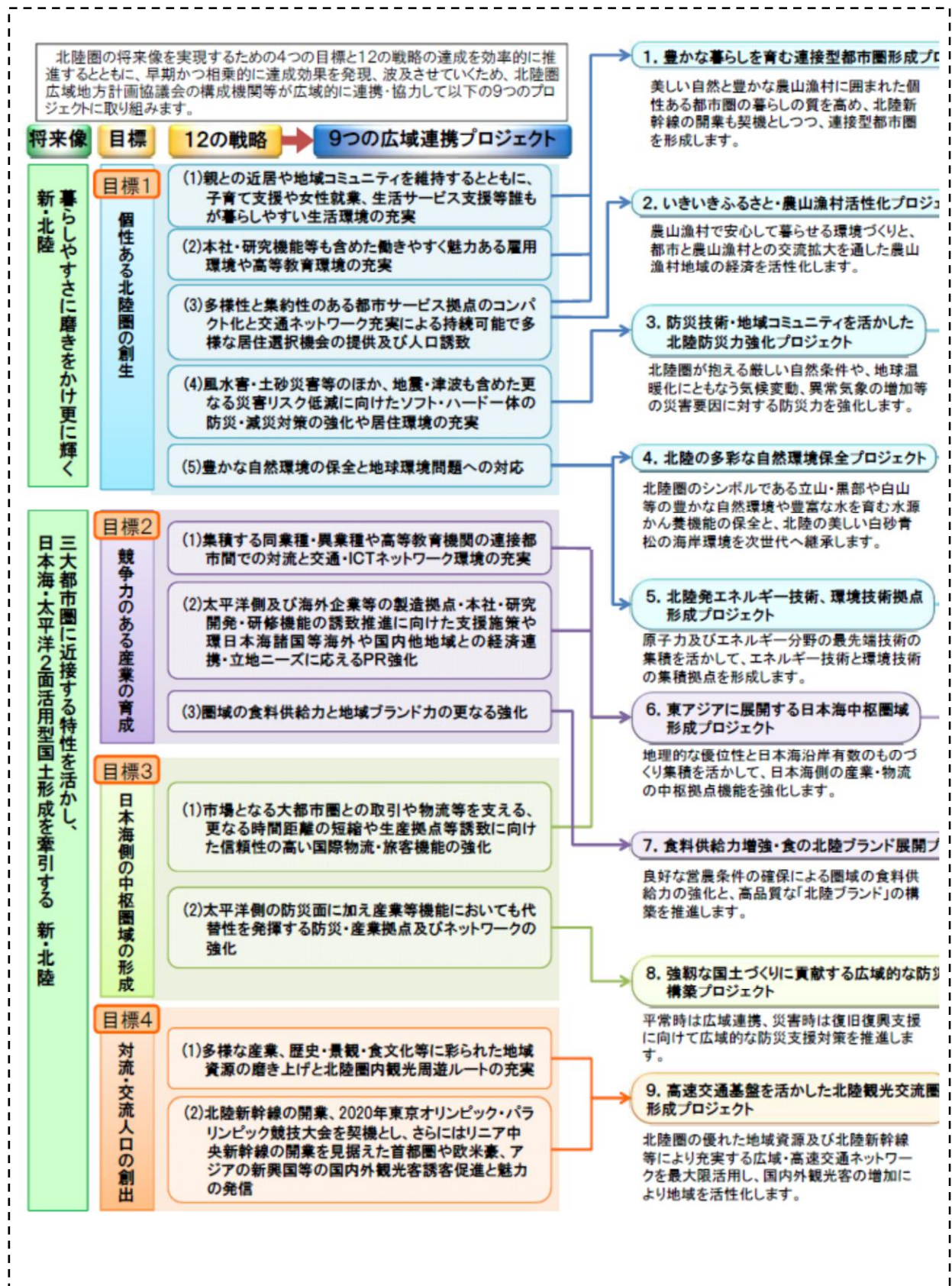
#### (4) 広域連携プロジェクト

将来像の実現に向けた4つの目標と12の戦略の達成を効率的に推進するとともに、早期かつ相乗的に効果を発現、波及させていくため、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関等が広域的に連携・協力して以下に示す9つの広域連携プロジェクトに取り組むこととしている。

##### <9つの広域連携プロジェクト>

- PJ1：豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト
- PJ2：いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト
- PJ3：防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト
- PJ4：北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト
- PJ5：北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト
- PJ6：東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト
- PJ7：食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト
- PJ8：強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制構築プロジェクト
- PJ9：高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

(参考) 将来像・目標・戦略・プロジェクトの関連図



プロジェクト

◇住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

▼富士市のコンパクトなまちづくりの推進

LRT等を公共交通軸(串)とし、その軸上に都市拠点(団子)を配置する都市構造の構築



【写真提供】富士市

◇個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成  
◇公共施設の計画的な管理  
◇近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる連接型都市圏の形成

プロジェクト

◇農山漁村の活性化

▼能登の里山里海

世界農業遺産認定(平成23年6月)をきっかけに能登半島全体の魅力発信の場としてポータルサイトを立ち上げ



【出典】世界農業遺産能登の里山里海ポータルサイト

◇都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

▼農山漁業体験民宿を核とした取組



【出典】北陸農政課

◇防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

▼海岸侵食対策(下新川海岸)

富山湾特有の「寄り回り波」による災害から人命・財産を守り、海岸侵食を防止



【出典】富山県HP

◇地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

▼自主防災組織主体の避難所運営訓練

防災訓練として、自主防災組織が中心となった避難所運営



【出典】石川県HP

◇立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

▼富山県:立山・黒部地域の環境保全

国立公園内の美観保持、健全なリレエーションの場としての維持のため、清掃活動やパトロール、登山道整備や積雪保護策を実施



◇日本海沿岸地域の環境保全

▼千里浜再生プロジェクト

土砂投入・砂流出防止工・人工リーフ等による砂浜の保全



【出典】石川県HP

▼先進的な研究の推進(若狭湾エネルギー研究センター)

国、自治体、大学、産業界一体となったエネルギーの総合的な研究開発拠点形成



【出典】若狭湾エネルギー研究センターHP

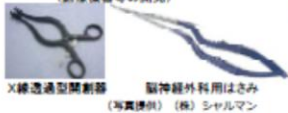
▼間伐材や林地残材等のペレット加工によるバイオマスエネルギー等の普及促進



【出典】富山県HP

◇日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

▼イノベーションによる新産業の事例  
北陸ライフサイエンスクラスター



X線透過型顕微鏡 脳神経外科用はさみ (写真提供) (株) シヤルマン

◇三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

▼国際物流ターミナル等の機能強化(金沢港大野地区)



プロジェクト

◇食料供給力の強化

▼農地の整備による生産性の向上(福井平野)



【出典】福井県HP

◇「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

▼農業6次化の事例(ハトムギ) がんの予防効果や美肌効果が見込める「ハトムギエキス」を開発するなど「はとむぎ茶」の商品化・ブランド化を推進



【出典】JA水原市 水原はとむぎ物産HP

防災体制

▼TEC-FORCEの派遣

大規模自然災害発生時、地方自治体の要請で、災害応急対策に対する技術的な支援を実施



▼高規格幹線道路網の充実

災害時の緊急輸送ネットワークの一翼を担う高規格幹線道路の整備を推進



(東海北陸自動車道)

◇地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

▼石川県都市公園の整備(金沢城公園)



【出典】石川県HP

▼若狭の社寺建造物群と文化的景観



【出典】小浜市HP

◇国内外観光客の戦略的な誘客拡大

▼伏木富山港伏木地区クルーズ船



【出典】富山県HP

出典：新たな「北陸圏広域地方計画」プレスリリース（北陸圏広域地方計画推進室）

図 32 将来像・目標・戦略・プロジェクトの関連図

(5) 先行して取り組む施策について

広域連携プロジェクトを効率的に進めるとともに早期に効果を発現させるため、広域的な既存の連携事業・施策及び新たな連携の取組みを「先行して取り組む施策」として設定している。

＜先行して取り組む施策＞

- PJ1・9：北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクト
- PJ6：北陸次世代産業創出イノベーション推進プロジェクト
- PJ7：食の「北陸ブランド」の構築と流通・販売網の開拓・充実プロジェクト
- PJ8：強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

## 2. 北陸圏広域地方計画の推進状況について

### 2.1 計画の進捗管理【プロジェクトの推進】

#### 2.1.1 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト

本プロジェクトは、美しい自然と豊かな農山漁村に囲まれ、住環境や子育て環境にも恵まれた個性ある都市圏の暮らしの質を高め、北陸新幹線の開業も契機としつつ、近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる接続型都市圏の形成を推進することを目的としている。

#### (1) 住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

##### ① 個性豊かでコンパクトな都市圏形成の推進

[継続的な取組]

○環境モデル都市の推進により地域の活力を創出。2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指し「ゼロカーボンシティ」の表明及び富山市地球温暖化対策推進計画を策定。【富山市】

令和5年度末で計画期間終了

##### ② 子育てを支援するワークライフバランスのとれた豊かな地域づくりの推進

[継続的な取組]

○ワークライフバランス企業の表彰【石川県】(R6年度：18社) ← (R5年度：※災害対応のため表彰の実施なし)

○とやま子育て応援団【富山県】

・協賛店：(R7.3月：1,945箇所) ← (R6.3月：2,018箇所 [-73箇所])

・PRステーション (R7.3月：80箇所) ← (R6.3月：80箇所 [±0箇所])

・「お出かけサポート部門」の設置 (妊産婦優先駐車場、授乳室等の設備を有するお店等) (R7.3月：422箇所) ← (R6.3月：422箇所 [±0箇所])

○プレミアム・パスポート事業【子育てにやさしい企業推進協議会(石川県)】

・協賛店舗数 (R7.3月：3,011店舗) ← (R6.3月：3,063店舗 [-52店舗])

##### ③ 教育サービスの充実と安心して子どもを育てることのできるまちづくりの推進

[継続的な取組]

○ふく育パスポート応援団【福井県】

・登録店舗 (R6年度：1,978店舗) ← (R5年度：2,038店舗 [-60店舗])

○サイエンス(理数)教育の充実(ふくい理数グランプリなど)【福井県】

・ふくい理数グランプリ開催 (R6年度：1,733人) ← (R5年度：1,741人 [-8人])

・ふくいサイエンスフェスタの開催

・福井県合同課題研究発表会の開催

・南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞授与 (R6年度：小学生6件、中学生5件、高校生7件) ← (R5年度：小学生5件、中学生8件、高校生9件 [小学生+1人、中学生-3人、高校生-2人])

○大学連携センター「F スクエア」の取組み【福井県】

- ・県内の大学が連携し、福井の歴史文化や産業の特色について学ぶ講座、県内企業の経営者による講座等を開講 講座数：(R6 年度：53 科目) ← (R5 年度：48 科目 [+5 科目])

○大学コンソーシアム石川の取組み【大学コンソーシアム石川】

- ・いしかわシティカレッジ（単位互換事業の実施）受講者数（R6 年度：3,764 人）←（R5 年度：3,008 人）[+756 人]
- ・石川の大学ガイドブックの作成・配布（R6 年度：12,000 部）←（R5 年度：20,000 部）[-8,000 部]
- ・出張オープンキャンパス事業の実施
- ・地域課題研究ゼミナール支援事業の実施
- ・FD・SD 研修事業の実施
- ・学都いしかわグローバル人材育成支援制度の実施（R5 年度なし）
- ・石川未来プロジェクトの実施
- ・県外高校の教員招聘
- ・文科系芸術祭の開催

○大学コンソーシアム富山の取組み【大学コンソーシアム富山】

- ・県内企業訪問
- ・グローバルチャレンジ入門講座
- ・高大連携
- ・合同進学説明会（R5 年度なし）
- ・富山で学ぼう P R
- ・単位互換
- ・地域課題解決事業
- ・学生による地域フィールドワーク研究助成
- ・学生地域リーダー塾
- ・富山駅前キャンパス研修室開放
- ・大学連携講演

○「暮らしの道」の安全の推進【北陸地方整備局】

- ・金沢自転車ネットワーク協議会開催（R6 年度：4 月・10 月・3 月）←（R5 年度：9 月）

④ 医療・福祉サービスの充実

[継続的な取組]

○富山型デイサービス【富山県】

<ハード>

- ・新築整備（R6 年度：1 箇所 4,000 千円）←（R5 年度：なし）
- ・機能向上（改修）（R6 年度：1 箇所（953 千円）←（R5 年度：1 箇所（1,656 千円）[-703 千円]）
- ・機能向上（備品）（R6 年度：2 箇所（352 千円）←（R5 年度：2 箇所（291 千円）[+60 千円]）

<ソフト>

- ・起業家育成講座（R6年度：受講者 10 人（612 千円）←（R5 年度：受講者 16 人（612 千円）[受講者-6 人]）
- ・職員研修（3 回）（R6 年度：受講者 71 人（408 千円）←（R5 年度：受講者 54 人（408 千円）[受講者+17 人]）

## (2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成に向けた取組み

### ① 都市間の連携機能の強化

[継続的な取組]

#### ○高規格道路等の整備【北陸地方整備局】

- ・能越自動車道（輪島道路、田鶴浜七尾道路）、富山高山連絡道路（猪谷楡原道路、大沢野富山南道路）、金沢外環状道路（金沢東部環状道路、海側幹線（今町～鞍月））等の高規格道路等の整備促進

#### ○福井市を中心とした嶺北 7 市 4 町によるふくい嶺北連携中枢都市圏形成【福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町】

- ・第 2 期ビジョンに基づき、23 のワーキンググループで 42 事業を実施
- ・首都圏での期間限定アンテナショップによる特産品の販路拡大をはじめ、本格導入した「ふくい MaaS アプリ」による企画切符の電子化・販売、連携市町の保育士等への研修会など、圏域全体の経済成長のけん引や圏域全体の生活関連機能サービスの向上等の取組を展開。

### ② 二地域居住、移住・定住促進に向けた暮らしやすさを伝える地域ブランドの情報発信

[継続的な取組]

#### ○暮らしよさ日本一の北陸地域ブランドの確立と魅力の発信【北陸イメージアップ推進会議】

- ・Web サイト「北陸に住もう～移住・U I ターンガイド～」運営継続（北陸の暮らしやすさ、北陸三県の就職情報や移住・定住・ワーケーション情報等を紹介）

### ③ 若年層の定住、UIJ ターンの受入促進

[継続的な取組]

#### ○ふるさと就職の促進【石川県】

- ・合同企業説明会（R6 年度：参加企業 526 社・学生 489 人）←（R5 年度：参加企業 511 社・学生 1,020 人 [+15 社・-531 人]）
- ・インターンシップマッチング交流会（R6 年度：参加企業 452 社・学生 1,197 人）←（R5 年度：参加企業 406 社・学生 1,237 人 [+46 社・-40 人]）
- ・いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）（ILAC 東京・大阪含む）の運営（R6 年度：相談者 1,429 人・移住者 438 人）←（R6 年度：相談者 1,660 人・移住者 497 人 [-231 人・-59 人]）

#### ○「ふるさと福井移住定住促進機構」の設置【福井県】

- ・生活面の相談についての総合窓口として定着まで支援

- ・個々の移住希望者に応じた仕事探しの支援
  - ・農林水産業、伝統工芸、民間等の関係機関と連携し、移住情報の発信、相談対応
- 生産性革命「深化の年」に向けて(i-Construction の推進)、ICT土工の地方自治体への普及促進【北陸地方整備局】
- ・第6回北陸地方整備局インフラDX推進本部会議の開催(R6.5月)
  - ・令和6年度ICT人材育成推進企業の認定(R6.7月)
  - ・i-construction技術講習会(R6.10月)

### (3) 個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成に向けた取組み

#### ① 職住に便利な公共交通を核とした地域づくりの推進

[継続的な取組]

- パーク・アンド・ライドの推進【金沢都市圏パーク・アンド・ライドシステム実施協議会】
  - ・パーク・アンド・バスライド(R6年度:15箇所)←(R5年度:15箇所[±0箇所])
  - ・パーク・アンド・レールライド(R6年度:5箇所)←(R5年度:5箇所[±0])
    - ・合計台数(R6年度:313台)←(R5年度:313台[±0台])
    - ・利用者数(R6年度:189人)←(R5年度:193人[-4人])
- 主要都市の環状道路やバイパス等の整備【北陸地方整備局】
  - ・富山外郭環状道路(豊田新屋立体、中島本郷立体)、高岡環状道路(六家立体)、金沢外環状道路(金沢東部環状道路、海側幹線(今町~鞍月))等の高規格道路等の整備促進

#### ② 北陸新幹線開業を契機とした都市圏ネットワークの充実にに向けた取組み

[継続的な取組]

- 富山駅付近連続立体交差事業【富山県】
  - ・富山地方鉄道本線(R6年度:高架工事中)
- 賑わい交流館運営事業【富山市】
  - ・映画館(ミニシアター)の運営に実績のある市内の民間事業者が新たな運営者となり、令和2年6月より施設を再開。市は施設の維持管理費等を支援
    - ・市補助金:(R6年度:6,976千円(施設維持管理分:6,976千円))←(R5年度:7,344千円(施設維持管理分:7,344千円))[-368千円])
- 新規出店サポート事業【富山市】
  - ・商店街の空き店舗への出店者が行う店舗の改装、店舗の賃借、経営相談又は中心商店街の商店街団体が行う店舗誘致活動に対して支援
    - ・店舗改装費(R6年度:3件(9,240千円))←(R5年度:3件(11,962千円)[±0件(-2,722千円)])
    - ・店舗賃借料(R6年度:7件(1,792千円))←(R5年度:8件(3,220千円)[-1件(-1,428千円)])
    - ・経営相談(R6年度:0件(0円))←(R5年度:1件(27千円)[-1件(-27千円)])
    - ・店舗誘致(R6年度:0件(0円))←(R5年度:0件(0円)[±0件(±0千円)])
- 水辺空間賑わい創出事業【学習支援船運営委員会(富山県、富山市)】

- ・中心市街地の貴重な水辺空間である富岩運河環水公園や富岩運河を活用して富岩水上ラインを運航することにより、まちなかの魅力を向上させ賑わいの創出を図る。
- 利用者数 (R6 年度 : 69,158 人) ← (R5 年度 : 63,372 人 [+5,786 人])
- グランドプラザ運営事業【富山市】
  - ・グランドプラザ運営事業 : まちなかの賑わい広場「グランドプラザ」の管理運営
  - ・稼働率 (R6 年度 : 全日 69.3% (平日 56.3%、休日 96.6%)) ← (R5 年度 : 全日 62.1% (平日 50.0%、休日 87.0%) [全日 +7.2pt (平日+6.3pt、休日+9.6pt) ])
- エコリンク事業【(株) 富山市民プラザ】
  - ・エコリンク事業 : 樹脂製のスケートリンクを設置し、あわせて、関連イベントや商店街と連携したイベントを実施することにより、冬期間の来街者の増加と回遊性の向上を図る。
  - ・来場人数 : (R6 年度 : 8,594 人) ← (R5 年度 : 5,960 人 [+2,634 人])
  - ※R6 年度は 12 月 14 日～翌年 1 月 13 日の 31 日間実施 (R5 年度の日程は 12 月 9 日～翌年 1 月 1 日の 24 日間実施 (当初 1 月 8 日までの予定であったが、震災の影響で 1 月 2 日以降の営業を中止))
- 地場もん屋運営【富山市】
- 中心市街地の回遊性の向上を目的に運行するコミュニティバスの運行支援【(株) 富山市民プラザ】
- まちなか居住推進事業【富山市】
  - ・質の高い住宅建設や良質な住宅取得に対して支援
  - ・住宅取得者 (R6 年度 : 戸建て 4 戸、分譲マンション 57 戸) ← (R5 年度 : 戸建て 11 戸、分譲マンション 60 戸 [戸建て-7 戸、分譲マンション-3 戸])
  - ・家賃助成 (R6 年度 : 213 件) ← (R5 年度 : 265 件 [-52 件])
  - ・リフォーム (R6 年度 : 1 戸) ← (R5 年度 : 3 戸 [-2 戸])
  - ・マルチハビテーション (R6 年度 : 2 戸) ← (R5 年度 : 1 戸 [+1 戸])
  - ・共同住宅建設費補助 (R6 年度 : 0 戸) ← (R5 年度 : 0 戸 [±0 戸])
- 中心市街地活性化計画の策定【福井市、越前市、大野市、敦賀市】
  - ・「福井まちなか地区都市再生整備計画」R5 年度未完了
  - ・「福井まちなか地区 (2 期) 都市再生整備計画」(R6～R10) を開始
- 北陸新幹線駅前の整備計画【富山市】
  - ・自由通路整備、富山駅周辺道路整備駅前広場等の整備
- 福井城址周辺整備事業【福井市】
  - ・御本丸緑地 (北東側) の整備 (緑地整備工事 (塗装) 125m、消融雪設備工事 125m)
- 北陸新幹線福井駅 (東口) 拡張施設整備事業
  - ・R5 年度事業終了
- 福井市中心市街地にぎわい創出事業【福井県、福井市、(株)まちづくり福井】
  - ・中心市街地特有のテーマやターゲット別に、店舗や公共空間を回遊するにぎわい創出イベントを実施 (R6:年 5 回 計 約 5,300 人来場) ← (R5:年 4 回 計 約 9,000 人来場 [-3,700 人])
  - ・中心市街地の店舗等の魅力を観光サイトに掲載、冊子を作製して情報発信

○商店街等空き店舗対策支援事業

- ・ R5 年度事業終了

(4) 公共施設の計画的な管理に向けた取組み

[継続的な取組]

○道路の老朽化対策の実施

<富山県道路メンテナンス会議> 【北陸地方整備局】

- ・ 第1回富山県道路メンテナンス会議 (R6年8月1日)

<石川県道路メンテナンス会議> 【北陸地方整備局】

- ・ 第1回石川県道路メンテナンス会議 (R6年7月29日)
- ・ 第2回石川県道路メンテナンス会議 (R7年2月) 書面開催

<福井県道路メンテナンス会議> 【近畿地方整備局】

- ・ 第1回福井県道路メンテナンス会議 (R6年10月1日)

○港湾施設の老朽化対策の実施【北陸地方整備局】

- ・ 伏木富山港 (富山地区) の岸壁改良事業の推進
- ・ 敦賀港 (鞠山北地区) の防波堤改良事業の推進

■取り組み事例 ワークライフバランス企業知事表彰【石川県】

継続的な取組

石川県では、県内企業におけるワークライフバランス（仕事と生活の調和）の取組を促進することを目的に、ワークライフバランスの推進に取り組む企業として、県に登録することができる。登録企業については、企業名や行動計画の内容その他の企業情報を県のホームページに掲載され、広くPRされる。また、ワークライフバランスを図るための職場環境の整備に特に積極的に取り組み、優れた成果があった企業を「石川県ワークライフバランス企業」として表彰している。



登録企業  
使用ロゴマーク



受賞企業  
使用ロゴマーク



令和6年度受賞企業

「石川県ワークライフバランス企業知事表彰」  
簡単チェックリスト

石川県ワークライフバランス企業登録制度に基づき、県に登録している

<登録の要件> ・県内に本店又は主たる事業所を置いていること  
・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、その旨を石川労働局へ届出していること

ワークライフバランスを実現するため次のような取組を行っている

1. 所定外労働の削減のための措置  
(例) ・所定外労働時間を管理職が管理し、仕事の配分を適宜調整  
・一定の残業時間を超えた職場に対し、管理職と業務見直し等について面談を実施
2. 年次有給休暇の取得の促進のための措置  
(例) ・半日単位での取得が可能（法は1日単位）  
・社長自らが社員に対してメール等により取得を呼びかけ  
・休暇予定日を計画的に設定し、個々の勤務表に反映
3. 在宅勤務等、場所・時間にとらわれない働き方の導入  
(例) 在宅勤務時にかかる通信費や光熱費を会社が負担
4. その他、働き方の見直しに資する取組  
(例) ・ワークライフバランスについての社内研修による従業員の意識変革  
・妊娠判明時から育児復帰後1年にわたり、人事労務部門がきめ細かなサポートを実施  
・配偶者出産休暇やメモリアル休暇、不妊治療休暇、育児休暇の整備

次世代育成支援対策に関する取組を積極的に行っている

(例) ・子どもが親の働いているところを見学できる「子ども参観日」の実施  
・地域の小中学生に対する工場見学や体験教室の開催  
・学生へのインターンシップの実施  
・地域貢献活動や若者への就業体験機会の提供の実施

過去3年以内（R4～R6）に、仕事と家庭の両立に関する以下のいずれかに該当する取組を行っている

- ・男性の育児休業取得者がいる
- ・女性の育児休業取得率が75%以上である
- ・育児・介護休業法の規定を上回る子の看護等休暇、介護休暇、所定外労働の制限、時間外労働の制限、深夜業の制限、所定労働時間の短縮措置等に関する制度を整備しており、制度を利用した者がいる
- ・育児に関する目的で利用できる休暇制度（配偶者出産休暇、子の行事参加のための休暇等）を整備しており、制度を利用した者がいる
- ・フレックスタイム制又は始業・終業時刻の繰上げ・繰下げに関する制度を整備しており、制度を利用した者がいる
- ・育児・介護を理由に退職した者を再雇用している
- ・その他仕事と家庭の両立支援のための独自の制度を整備しており、制度を利用した者がいる

(従業員が50人以上の企業) 一般事業主行動計画に基づく全ての取組を実施している

過去に石川県ワークライフバランス企業知事表彰を受賞したことがない

出典：石川県ワークライフバランス企業知事表彰, 石川県少子化対策監室子ども政策課 (<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kodomoseisaku/wlb/hyousyou.html>)

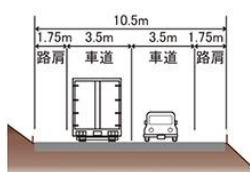
○国道 41 号大沢野富山南道路の整備推進

大沢野富山南道路は、高規格道路「富山高山連絡道路」の一部として、一般国道 41 号の交通渋滞の緩和、医療品製造業等の地域の産業を支える物流の信頼性向上を目的とした、富山市楡原から同市栗山に至る延長約 12.0km の道路事業である。

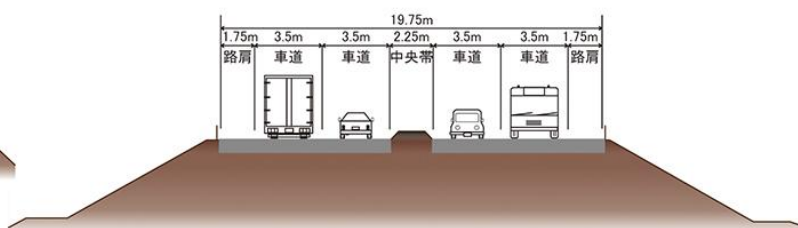
令和 6 年度は、用地買収、改良工事を推進することで、事業の着実な進捗を図っている。



◆楡原IC～稲代IC(2車線区間)



◆稲代IC～富山市栗山(4車線区間)



出典：北陸地方整備局資料

○金沢外環状道路（海側幹線（今町～鞍月））の整備推進

金沢外環状道路は、金沢都市圏における環状道路であり、海側幹線は、山側幹線と一体となって都市圏の通過交通の迂回や、市内への交通経路の分散により、交通の円滑化を図る重要な幹線道路である。

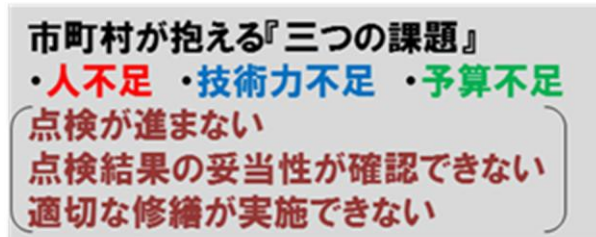
金沢外環状道路海側幹線の一部を構成する金沢市今町～福久地区、及び大河端～鞍月地区において、道路本線部を立体構造に整備することで、交通の流れを円滑にし、より安全な道路を目指す。



出典：金沢外環状道路 一般国道 8 号 海側幹線（今町～鞍月），金沢河川国道事務所

○道路メンテナンス会議の開催

道路施設の点検や補修・更新等を効率的・効果的に行うため、各県で全ての道路管理者からなる「道路メンテナンス会議」を設立し、確実にメンテナンスサイクルを回すための各種取組みを実施している。



- ・すべての道路管理者が参加
- ・情報の共有、連携、支援方策を検討

[令和6年度道路メンテナンス会議の開催状況]

＜富山県道路メンテナンス会議＞【北陸地方整備局】

- ・第1回富山県道路メンテナンス会議（R6年8月1日）

＜石川県道路メンテナンス会議＞【北陸地方整備局】

- ・第1回石川県道路メンテナンス会議（R6年7月29日）
- ・第2回石川県道路メンテナンス会議（R7年2月）書面開催

＜福井県道路メンテナンス会議＞【近畿地方整備局】

- ・第1回福井県道路メンテナンス会議（R6年10月1日）

出典：富山県道路メンテナンス会議, 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 ([https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/road2014/road10/menntekaigi\\_toyama.htm](https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/road2014/road10/menntekaigi_toyama.htm))

石川県道路メンテナンス会議, 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 ([https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/roukyuukataisaku/menntekaigi\\_ishikawa.htm](https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/roukyuukataisaku/menntekaigi_ishikawa.htm))

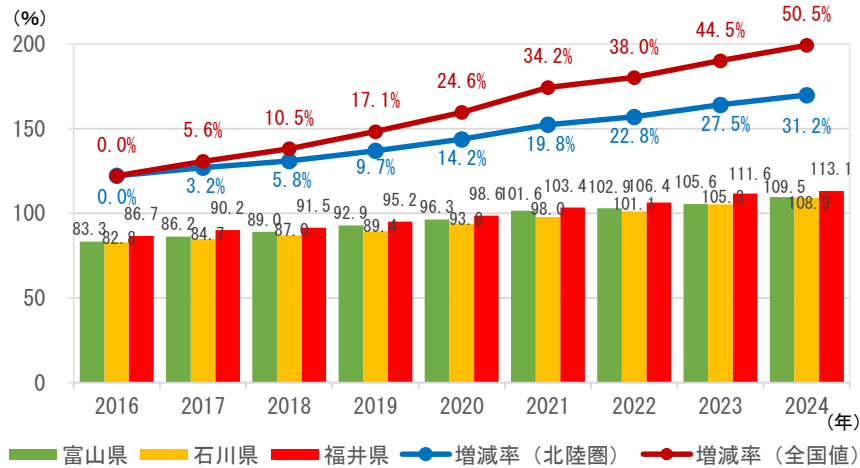
福井県道路メンテナンス会議, 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 (<https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/douro/kaigi/mainte.html>)

(5) 進捗状況

1) 住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

■モニタリング指標：①人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合

北陸圏の人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合は、年々増加傾向であり、2022年（令和4年）には3県とも100%を超えている。また、北陸圏の2024年（令和6年）における割合は110.3%となっており、全国平均の77.6%に対して大幅に高い水準である。



※増減率は対2016年（平成28年）比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
富山県	0~4歳人口(人)	38,562	37,827	36,966	36,046	34,812	33,022	32,453	31,144	29,615
	保育所定員(人)	32,125	32,622	32,908	33,491	33,513	33,537	33,386	32,883	32,417
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	83.3%	86.2%	89.0%	92.9%	96.3%	101.6%	102.9%	105.6%	109.5%
石川県	0~4歳人口(人)	46,271	45,554	44,494	43,142	41,694	39,712	38,367	36,799	35,024
	保育所定員(人)	38,293	38,606	38,690	38,587	39,094	38,915	38,806	38,749	38,158
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	82.8%	84.7%	87.0%	89.4%	93.8%	98.0%	101.1%	105.3%	108.9%
福井県	0~4歳人口(人)	31,848	31,056	30,484	29,603	28,663	27,415	26,712	25,453	24,623
	保育所定員(人)	27,611	28,000	27,879	28,174	28,263	28,349	28,427	28,399	27,849
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	86.7%	90.2%	91.5%	95.2%	98.6%	103.4%	106.4%	111.6%	113.1%
北陸圏	0~4歳人口(人)	116,681	114,437	111,944	108,791	105,169	100,149	97,532	93,396	89,262
	保育所定員(人)	98,029	99,228	99,477	100,252	100,870	100,801	100,619	100,031	98,424
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	84.0%	86.7%	88.9%	92.2%	95.9%	100.7%	103.2%	107.1%	110.3%
全国	0~4歳人口(人)	5,111,730	5,024,936	4,917,358	4,783,530	4,621,309	4,362,939	4,279,321	4,095,292	3,925,286
	保育所定員(人)	2,634,510	2,735,238	2,800,579	2,888,159	2,967,328	3,016,918	3,044,399	3,050,928	3,044,678
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	51.5%	54.4%	57.0%	60.4%	64.2%	69.1%	71.1%	74.5%	77.6%

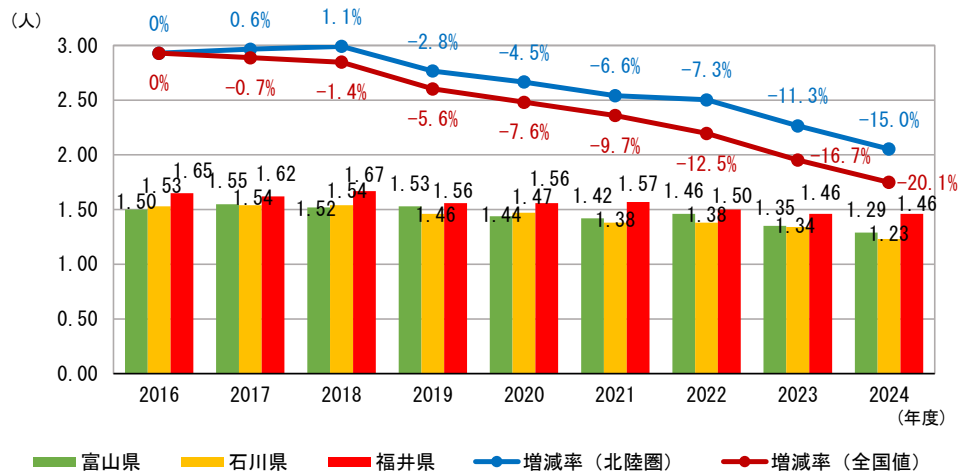
出典：厚生労働省「社会福祉施設等調査」総務省「住民基本台帳」

図 33 北陸圏 人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合の推移

(2025年12月時点の公表データ)

■モニタリング指標：②合計特殊出生率

北陸圏の2024年(令和6年)における合計特殊出生率は、2016年(平成28年)と比較すると15.0%減少しており、全国と同様に減少傾向にある。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「人口動態統計」

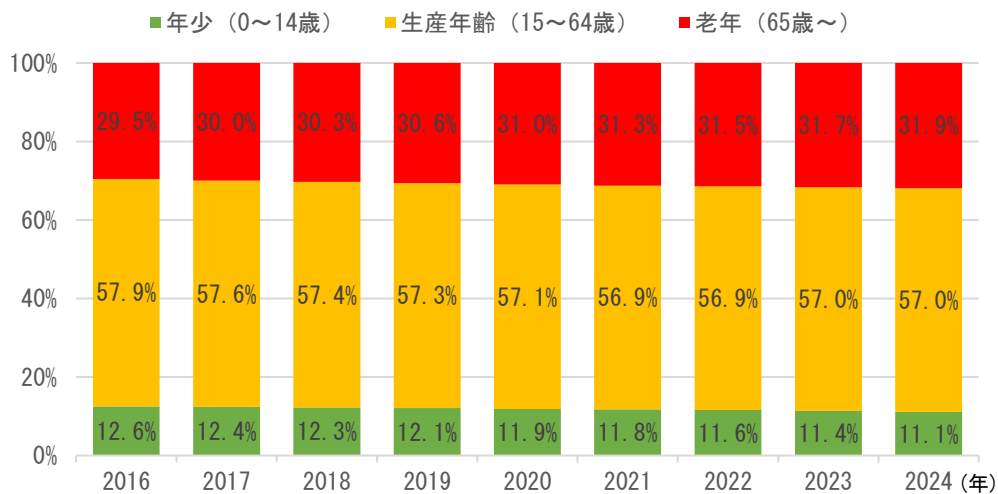
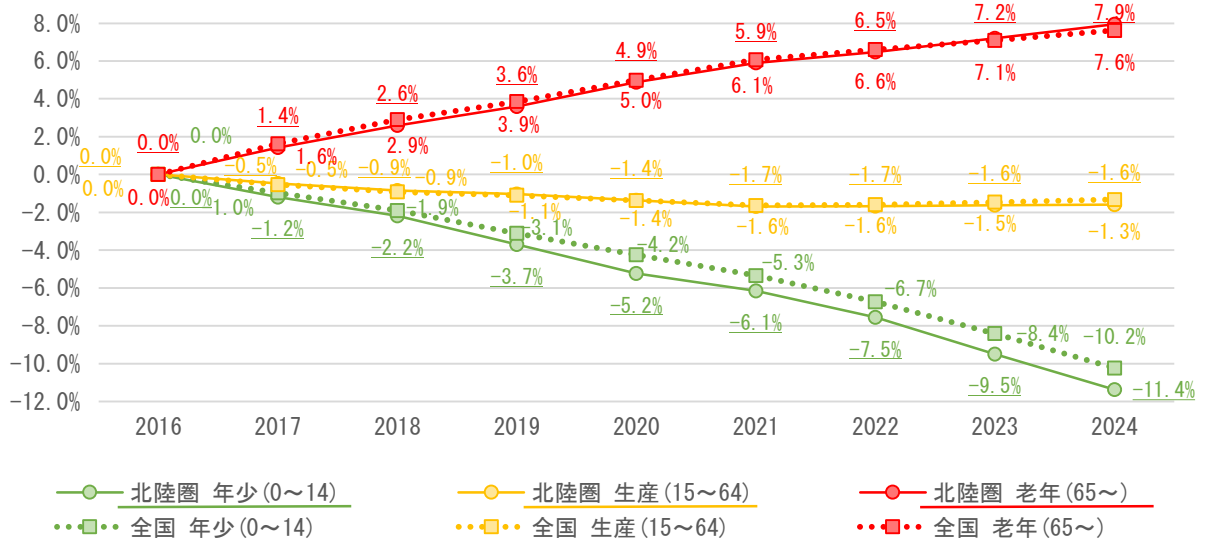
図 34 北陸圏 合計特殊出生率の推移

(2025年12月時点の公表データ)

2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成に向けた取組み

■モニタリング指標：年代別人口の増減率（2016年(平成28年)比）

北陸3県において、老年人口は全国と同様に年々増加傾向となっている。一方、年少人口は年々減少してきており、少子高齢化社会の進行が顕著となっている。



出典：総務省「人口推計」 総人口(各年10月1日現在)

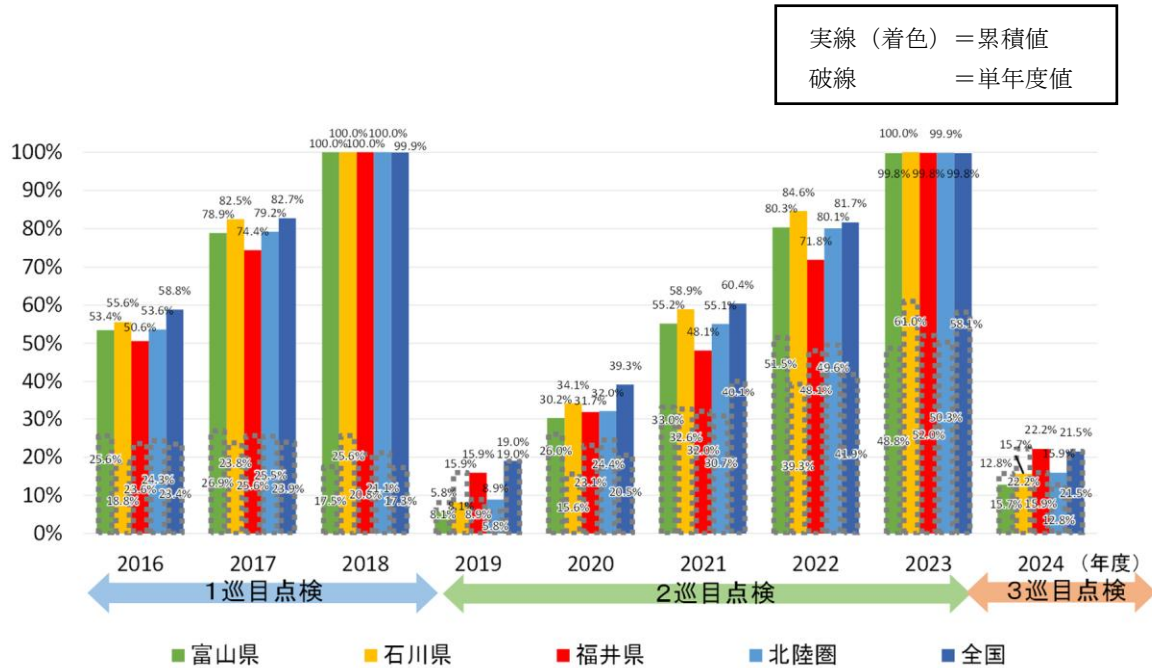
図 35 北陸圏における世代構成比(下)と世代構成比増減(上)の推移

(2025年12月時点の公表データ)

### 3) 公共施設の計画的な管理に向けた取組み

#### ■モニタリング指標：橋梁の点検実施率

2014年度(平成26年度)から2018年度(平成30年度)までに1巡目点検が完了し、2019年度(令和元年度)から2023年度(令和5年度)までに2巡目点検が完了している。2024年度(令和6年度)からは3巡目点検が開始された。



出典：国土交通省「道路メンテナンス年報」

図 36 橋梁の点検実施率の推移 (国が管理する橋梁)

(2025年12月時点の公表データ)

## 2.1.2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト

本プロジェクトは、農山漁村で安心して暮らせる環境づくりを進めるため、農林漁業が健全に育まれることを基本とし、福祉サービス充実等、集落機能の再生・維持・強化、里地里山や里海の保全と林業の成長産業化、野生鳥獣の被害防止対策の強化による農山漁村の活性化を推進する。また、都市と農山漁村との交流拡大や未利用資源の利活用、農林水産業への新規就業を促進し、農山漁村地域の経済の活性化を図ることを目的としている。

### (1) 農山漁村の活性化

#### ① 福祉サービス充実等集落機能の再生・維持・強化

[継続的な取組み]

##### ○「道の駅」の取組みの推進【北陸地方整備局】

- ・北陸「道の駅」スタンプラリー&クーポンラリー2024-2026（2年間実施）

##### ○管理用光ファイバー開放【近畿地方整備局】

- ・過年度より継続して利用者を募集

（光ケーブル敷設距離）

- ・福井河川国事務所：河川=93.3km

- ・九頭竜川ダム統管理事務所：48.74km

##### ○ふくい空き家情報バンクの充実【福井県】

- ・ふくい空き家情報バンクで新ふくい人等に空き家情報を提供（R6年度新規登録：566戸）

←（R5年度新規登録：481人 [+85戸]）

#### ② 里地里山や里海の保全と林業の成長産業化

[継続的な取組み]

##### ○「ふるさと学びの森」の全県展開【福井県】

- ・ふるさと学びの森設置・登録団体の活動

- ・福井県設置（R6年度：0箇所）←（R5年度：0箇所 [±0箇所]）

- ・イベント企画数（R6年度：0回）←（R5年度：0回 [±0回]）

- ・登録団体（R6年度：37箇所）←（R5年度：37箇所 [±0箇所]）

- ・イベント実施回数（R6年度：440回）←（R5年度：329回 [+111回]）

##### ○元気な里山里海づくり【石川県】

- ・いしかわ里山振興ファンドによる生業の創出等の民間の取組みに対する支援

- ・基金総額：180億円

- ・期間：5年間（R3.4.1～R8.3.31）

- ・取組み対象：地域資源を活用した新商品開発、チャレンジ精神旺盛な生業の担い手支援、里山里海に人を呼び込むスローツーリズムの推進等

##### ○いしかわ農村ボランティア【石川県】

- ・過疎化や高齢化で人手不足となっている集落に、都市住民のボランティア（「農村役立ち隊」）を派遣（H22年度～）

- ・受入地区数（R6年度：17地区）←（R5年度：18地区 [-1地区]）

- ・活動回数 (R6 年度 : 39 回) ← (R5 年度 : 36 回 [+3 回])
- ・年間延べ参加者数 (R6 年度 : 340 人) ← (R5 年度 : 366 人 [-26 人])

#### ○いきいき地域営農サポート事業【福井県】

- ・各市町に地域の現状把握や相談の窓口（サポートセンター）を設置し、地域マネージャーが作業受委託の相談や支援・指導活動を実施
- ・アグリサポーターとして登録された農家が小区画農地の農作業を受託し、耕作放棄地の発生を未然に防止。アグリサポーターが受託作業を行う際のかかりまし経費を県が助成
- ・山奥などアグリサポーターや担い手のいない地域においても、JA 等による広域的に作業を受託する体制を整備し、耕作放棄地の発生を未然に防止

#### ○とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業（水と緑の森づくり事業）

<とやまの森づくりサポートセンターの活動実績>

- ・登録ボランティア団体に対する森づくり活動支援 (R6 年度 : 137 団体、62 企業) ← (R5 年度 : 139 団体、62 企業 [-2 団体、±0 企業])
- ・技術講習（森づくり塾）の開催 (R6 年度 : 28 回開催、325 人受講) ← (R5 年度 : 29 回開催、405 人受講 [-1 回、-80 人])
- ・体験ボランティアやネットワーク化の支援 (R6 年度 : 4 回、248 人参加) ← (R5 年度 : 4 回、224 人参加 [±0 回、+24 人])
- ・機器の貸出 (R6 年度 : 6,545 個) ← (R5 年度 : 6,512 個 [+33 個]) など

#### ○いしかわ森林環境税の活用による森林整備や、森林に対する理解の増進及び県民参加の森づくりの推進【石川県】

<いしかわ森林環境税を活用した事業>

- ・放置竹林の除去 (R6 年度 : 約 83ha) ← (R5 年度 : 約 70ha [+13ha])
- ・緩衝帯の整備 (R6 年度 : 約 35ha) ← (R5 年度 : 約 48ha [-13ha])

#### ○地籍調査【福井市】

### ③ 野生鳥獣の被害防止対策の強化

[継続的な取組み]

○鳥獣被害防止措置法及び関連対策等を通じ、被害防止に向けた取組みへの指導、助言

#### 【北陸農政局】

- ・鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画作成及び鳥獣被害対策実施隊設置市町村数  
 [被害防止計画作成] (R6 年度 : 51 市町村 (富山県 15 市町村、石川県 19 市町、福井県 17 市町) ← (R5 年度 : 51 市町村 (富山県 15 市町村、石川県 19 市町、福井県 17 市町) [±0 市町村])
- [鳥獣被害対策実施隊設置] (R6 年度 : 50 市町村 (富山県 14 市町村、石川県 19 市町、福井県 17 市町) ← (R5 年度 : 50 市町村 (富山県 14 市町村、石川県 19 市町、福井県 17 市町) [±0 市町村])

#### 【近畿中国森林管理局】

- ・国有林及び民有林において、自動撮影カメラによるニホンジカ生息調査を石川県白山自然保護センター、宝達志水町と共同で実施

- ・敦賀市との協定に基づき罾を貸出し、市内国有林において連携して捕獲を実施
  - ・ニホンジカ捕獲頭数（R6年度：49頭）←（R5年度：1頭 [+48頭]）、

【中部森林管理局（富山森林管理署）】

- ・国有林内にセンサーカメラを設置し野生鳥獣の生息状況の確認、結果を関係機関と共有
- ・水無湿原でイノシシ被害予防のためNPOとワイヤーメッシュの設置

【富山県】

- ・指定管理鳥獣捕獲等事業によるツキノワグマの個体数管理、イノシシ、ニホンジカの生息密度の減少を、鳥獣害防止特措法に基づく被害防止計画作成市町と連携して実施

(2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

① 都市と農山漁村との交流拡大

[継続的な取組み]

○グリーンツーリズムの推進【富山県】

- ・「とやま帰農塾」(R6年度：県内8市町で開催(9講座、64人参加)←(R5年度：県内7市町で開催(6講座、68人参加)[+1市町、+3講座、-4人])
- ・震災被災地からの子ども受け入れ：新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

○都市農村共生・対流及び地域活性化対策【北陸農政局】

- ・農山漁村振興交付金(地域活性化対策)により支援
  - ・富山県(R6年度：0団体)←(R5年度：0団体[±0団体])
  - ・石川県(R6年度：1団体)←(R5年度：0団体[±1団体])
  - ・福井県(R6年度：0団体)←(R5年度：0団体[±0団体])

○農泊推進対策【北陸農政局】

- ・農山漁村振興交付金(農泊推進対策)により支援
  - ・富山県(R6年度：3団体)←(R5年度：2団体[+1団体])
  - ・石川県(R6年度：2団体)←(R5年度：0団体[+2団体])
  - ・福井県(R6年度：1団体)←(R5年度：1団体[±0団体])

○農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)【北陸農政局】

- ・農山漁村活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律に基づき県及び市町村で策定された活性化計画の施設整備等に対して支援
  - ・富山県(R6年度：4地区)←(R5年度：2地区[+2地区])
  - ・石川県(R6年度：0地区)←(R5年度：3地区[-3地区])
  - ・福井県(R6年度：3地区)←(R5年度：2地区[+1地区])

② 農林水産業への新規就業の促進

[継続的な取組み]

○LED等を利用した屋内の大規模園芸設備等による企業の園芸を支援(植物工場立地促進事業)

【福井県】

- ・植物工場立地促進事業：農業参入を検討している企業の誘致にむけた取組を実施
  - ・展示会への出展(R6年度：3回)←(R5年度：2回[+1回])

- ・企業等訪問（R6年度：0件）←（R5年度：0件 [±0回]）
- ・本事業への応募計画の審査・認定

■取組み事例 いしかわ農村ボランティア【石川県】

継続的な取組

石川県では、農村でボランティアをしていただける県民や企業、大学を「農村役立ち隊」、ボランティアの受入を希望する集落を「受け入れ隊」として登録し、「農村役立ち隊」と「受け入れ隊」との協働活動を通じて、元気な里山里海づくりを推進している。



<いしかわ農村ボランティアの活用状況>



[棚田の草刈り (輪島市)]



[田植え作業 (輪島市)]

出典：いしかわ農村ボランティア, 石川県農林水産部里山振興室

( <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/satoyama/borantia/index.html> )

○「とやま帰農塾」の開催

「とやま帰農塾」は、富山県の農山漁村で地元の方と一緒に過ごす田舎暮らし体験プログラムで、植え付けや収穫、草取りなど、その時季の地元特産物の農作業のほか、地元の方と一緒にとれたての農産物で地元の料理を作って食べるなどの体験を実施している。



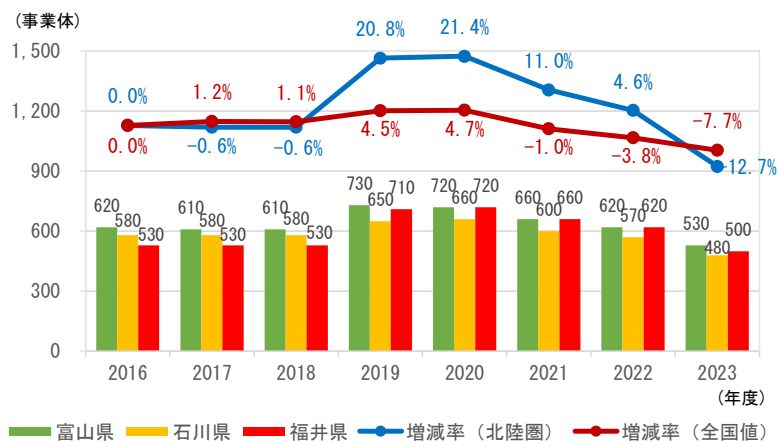
出典：グリーンツーリズムとやまホームページ，NPO 法人グリーンツーリズムとやま  
 ( <https://gt-toyama.net/weekendlifestyle> )

### (3) 進捗状況

#### 1) 農山漁村の活性化に向けた取組み

##### ■モニタリング指標：農業生産関連事業の事業体数

北陸圏の2023年度(令和5年度)における農業生産関連事業の事業体数は、2016年度(平成28年度)と比較すると12.7%減少しており、全国値も7.7%減少している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「6次産業化総合調査」

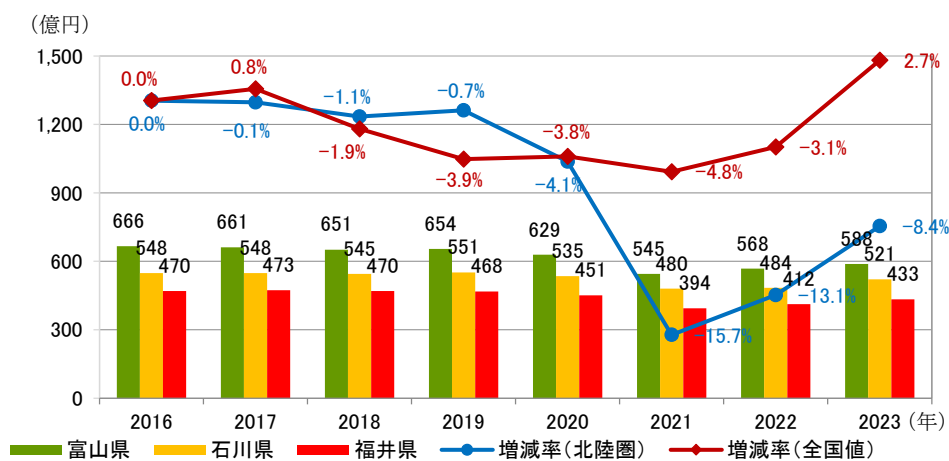
図 37 農業生産関連事業の事業体数

(2025年12月時点の公表データ)

#### 2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

##### ■モニタリング指標：農業産出額

北陸圏の2023年(令和5年)における農業産出額は、2016年(平成28年)と比較すると8.4%減少しており、全国値(2.7%増加)とは反対に、減少傾向が続いている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

図 38 農業産出額

(2025年12月時点の公表データ)

### 2.1.3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏が抱える厳しい自然条件や地球温暖化にともなう気候変動、異常気象の増加等の災害要因に対する防災力を強化するため、降積雪・波浪・風水害・土砂災害・日本海沿岸域を震源とする地震・火山への対策に取り組むとともに、災害リスクの評価・共有を行う。また、これまでに培った防災経験や知恵、地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化に取り組むことを目的としている。

#### (1) 防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

##### ① 冬期の降積雪や風浪等への対策強化

[継続的な取組み]

- ボランティアサポートプログラム（歩道除雪）の推進【北陸地方整備局】
- 下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業【北陸地方整備局】
- 災害時のAIによる異常検知の導入【近畿地方整備局】
  - ・AI 交通障害自動検知システムによる交通障害把握の推進
- 波浪観測の高度化（富山湾における波浪観測の高度化を図ることにより、「寄り回り波」等の異常波浪発生時における防災力の強化を図る。）【北陸地方整備局】
  - ・下新川海岸沿岸における近年で最も甚大な被害をもたらした平成20年2月の高波（寄り回り波）を想定した机上演習を実施（R6.11.20）

[主な訓練内容] ・関係機関との情報伝達の確認、情報共有の訓練  
・水防警報発令訓練  
・海岸施設災害復旧訓練

##### ② 風水害・土砂災害等への対策強化

[継続的な取組み]

- 災害時の交通マネジメントの実施【北陸地方整備局】
  - ・令和6年能登半島地震や令和7年8月6日からの大雨による道路復旧工事に対する円滑な交通確保に向けて、石川県災害時交通マネジメント会議を開催して関係機関との情報共有のもと、周辺地区における円滑な人流・物流を確保するための交通マネジメントについて議論
- 黒部川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
  - ・黒部川で急流河川対策の推進
  - ・黒部川ダム排砂評価委員会の開催（R7.1月、R7.3月）
  - ・黒部川土砂管理協議会の開催（R6.5月、R7.2月）
- 常願寺川、神通川、庄川、小矢部川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
  - ・第6回 常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会（R7.3月）
- 手取川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
  - ・手取川急流河川対策の推進
  - ・手取川 西川・熊田合流点処理の推進
  - ・大規模出水に備えた洪水対応演習（5月）

- ・手取川・梯川・石川海岸水防連絡会及び手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会（R7.3月）
- 九頭竜川改修事業の推進【近畿地方整備局、福井県】
  - ・九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会を開催（第10回：R6.3月）
- 足羽川ダム【近畿地方整備局】
  - ・足羽川ダム建設事業の推進
- 大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催【北陸地方整備局】
  - ・手取川・梯川・石川海岸水防連絡会及び手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会（R7.3月）
- 流域治水プロジェクトに関する協議会等の開催【北陸地方整備局、近畿地方整備局】
  - ・九頭竜川流域治水協議会の開催（第10回 R7.3）
  - ・北川流域治水協議会の開催（第10回 R7.3）
- 海岸における水害防止・軽減【北陸地方整備局】
  - ・下新川海岸沿岸における近年で最も甚大な被害をもたらした平成20年2月の高波（寄り回り波）を想定した机上演習を実施（R6.11.18）
    - ・高波予測・水防警報発令演習
    - ・一般被害、海岸施設被災などの情報伝達演習
    - ・海岸施設災害復旧演習
- 常願寺川水系直轄砂防事業【北陸地方整備局】
  - ・常願寺川水系直轄砂防事業の推進
- 手取川水系直轄砂防事業【北陸地方整備局】
  - ・手取川水系直轄砂防事業（猿花上流砂防堰堤改築等）の推進
- 神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会 合同防災訓練
  - ・神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会 合同防災訓練（R6年6月）
- 飛越地域森林・林業連絡会議【富山県・岐阜県】
  - ・富山県流木対策連絡会議を富山市で開催（R6年5月）
  - ・令和6年度飛越地域森林・林業連絡会議を富山市内で開催（R7年1月）※富山県主催

### ③ 日本海沿岸域を震源とする地震対策の強化

[継続的な取組み]

- 伏木富山港（富山地区）耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
  - ・伏木富山港（富山地区）において、耐震強化岸壁の整備を推進
- 金沢港の耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
  - ・金沢港大野地区において、防波堤の改良を推進

### ④ 災害リスクの評価・共有に基づく防災・減災対策の強化

[継続的な取組み]

- 地球温暖化も視野に入れたハザードマップ等の作成及び情報共有
  - ・想定最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図の作成

- ・ R1 年度末までに水防法で公表義務のある洪水予報河川および水位周知河川（38 河川：R2 年 6 月 23 日時点）の公表が完了
- 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定状況
  - ・土砂災害の恐れのある箇所について順次指定【全箇所】指定箇所数（R6 年度：11,752 箇所指定）←（R5 年度：11,751 箇所指定 [+1 箇所]）
  - ・土砂災害特別警戒区域の指定（全箇所指定済み）（R6 年度：10,444 箇所）←（R5 年度：10,448 箇所）
- 石川県土砂災害情報システム（SABO アイ）【石川県】
  - ・土砂災害情報システム「SABO アイ」を継続運用
- 土砂災害対策アクションプログラム【石川県】
  - ・土砂災害対策アクションプログラムに基づく活動を継続

## (2) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

[継続的な取組み]

- 自主防災組織の充実等【富山県】
  - ・自主防災組織化研修
    - ・防災危機管理センター（R6 年度：47 人）←（R5 年度：能登半島地震の対応により中止）
  - ・自主防災組織リーダー研修会
    - ・防災危機管理センター（R6 年度：112 人）←（R5 年度：126 人 [-14 人]）
    - ・オンライン（R6 年度：93 人）←（R5 年度：0 人 [+93 人]）
  - ・自主防災組織資機材整備事業補助金対象（R6 年度：65 組織）←（R5 年度：60 組織 [+5 組織]）
- 土砂災害対策アクションプログラムの推進（地区の土砂災害に対する防災意識を高めるため、地区の防災意識向上プログラム、小学校出前講座の計画的な実施、地区・住民主導の避難訓練の実施などに取り組む）【石川県】
  - ・地区の防災意識向上プログラム開催（R6 年度：12 地区）←（R5 年度：17 地区 [-5 地区]）
  - ・小学校出前講座実施（R6 年度：31 校）←（R5 年度：30 校 [+1 校]）
  - ・地区・住民主導の避難訓練の実施（R6 年度：3 市町）←（R5 年度：10 市町 [-7 市町]）
- 災害ボランティアコーディネーター養成研修会の実施
  - ・養成者数（累計）（R6 年度：能登半島地震及び奥能登豪雨の影響により中止）←（R5 年度：累計 851 人（単年度養成者数 21 人））
- 石川県災害対策ボランティア連絡会の開催【石川県県民ボランティアセンター】
  - ・開催数（R6 年度：1 回）←（R5 年度：能登半島地震の影響により中止）
- 災害ボランティアバンク登録制度の実施【石川県】
  - ・登録数（累計）（R6 年度：個人 20,934 人、団体 245 団体）←（R5 年度：個人 12,937 人、団体 205 団体 [+7,997 人、+40 団体]）
- 災害ボランティア体験入門講座の実施【石川県】

- ・開催数、参加者数 (R6年度 : 18回、616人) ← (R5年度 : 15回、494人 [+3回、+122人])

令和6年能登半島地震や令和7年8月6日からの大雨による道路復旧工事に対する円滑な交通確保に向けて、石川県災害時交通マネジメント会議を開催して関係機関との情報共有のもと、周辺地区における円滑な人流・物流を確保するための交通マネジメントについて議論が行われた。

[開催概要] 石川県災害時交通マネジメント会議

日時：令和7年 8月26日(火)

議事：(1) 8月6日からの大雨による被災状況（これまでの対応状況）

(2) 被災による交通への影響

(3) のと里山海道（穴水 IC～徳田大津 JCT）の集中工事による夜間通行止め

(4) 今後の対応（案）

集中工事に伴う迂回路への誘導



道路情報板による周知の強化



出典：石川県災害時交通マネジメント会議の開催結果について, 北陸地方整備局  
 (<https://www.hrr.mlit.go.jp/bosai/2025/8/250826dourobukaigi.pdf>)

石川県では、災害時のボランティア募集の迅速化と平時からの災害ボランティアに対する県民意識の醸成を図るため、石川県災害ボランティアバンクを創設し、災害時、ボランティア活動を行う意志のある個人・団体を事前に登録していただく方を募集している。

登録された方には、災害時に被災地などの災害ボランティア募集情報や、平時に災害ボランティア活動に関連する研修会・防災訓練開催などについて情報発信を行っている。

# 石川県災害ボランティアバンク

登録受付中！



## 被災地の「力になりたい」

家屋の片付け、炊き出し、支援助資整理、看護、重機等特殊車両操作、介護、通訳など  
ボランティアだからできること、たくさんあります。

### 災害ボランティアバンクとは

災害時、ボランティア活動を行う意志のある個人・団体を事前に登録する制度です。(災害時、ボランティア活動を強制するものではありません)  
災害ボランティアバンクに登録すると災害ボランティアに関する情報をお知らせします。

平 時 / 研修会・防災訓練開催などの情報  
災 害 時 / 被災地での災害ボランティア募集などの情報

### 募集対象

#### 個人登録の場合

**15歳以上の方**  
(登録年度の4月1日現在)

#### 団体登録の場合

**県内に所在する団体**

※団体はメールのみの登録となります。

### 登録方法



LINE 公式アカウント開設しました！

#### LINE登録の方

QRコードを読み込み  
「友だち」に追加

※事前にLINEアプリのインストールが必要ですよ。



又は LINE 公式アカウント検索より  
「石川県災害ボランティアバンク」  
で検索し「友だち」に追加

#### メール登録の方

QRコードを読み込み  
県HPより  
登録フォームに入力



又は「石川県災害ボランティアバンク」  
で検索し県HPより登録フォームに入力

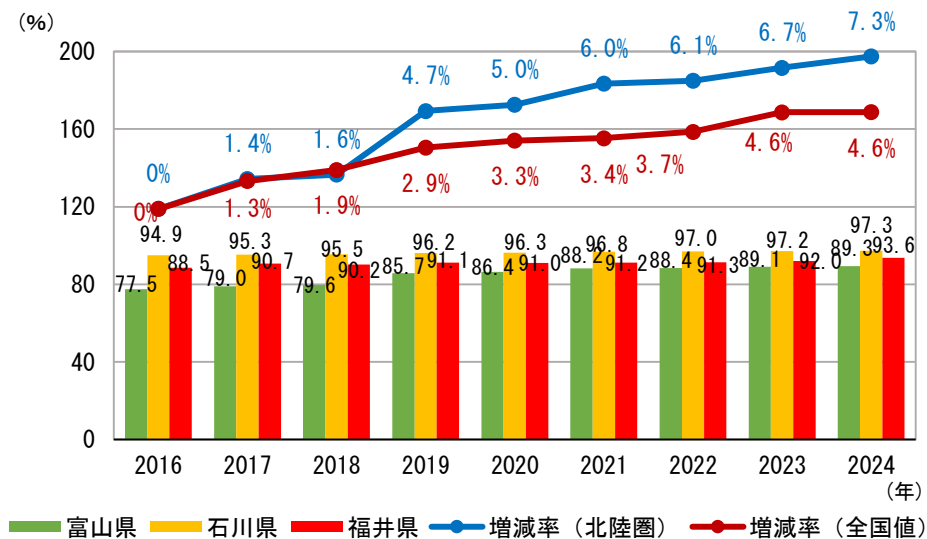
出典：石川県災害ボランティアバンク、石川県生活環境部女性活躍・県民協働課  
(<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/saigai/volunteerbank.html>)

### (3) 計画の進捗状況

#### 1) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

##### ■モニタリング指標：自主防災組織活動カバー率（％）

北陸圏の2024年(令和6年)における自主防災組織活動カバー率は、2016年(平成28年)と比較すると7.3%増加しており、全国値(4.6%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：消防庁「消防白書」

図 39 自主防災組織活動カバー率の推移

(2025年12月時点の公表データ)

## 2.1.4 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏のシンボルである立山・黒部や白山等の豊かな自然環境や豊富な水を育む水源涵養機能を保全していくため、山岳地域の自然環境の保全や流域圏全体の連携による水系一貫における水循環の維持又は回復、さらには、これら自然環境保全に関する意識啓発を推進する。また、北陸の美しい白砂青松の海岸環境を次世代に継承していくため、砂浜の減少等が進む海岸景観の保全・再生や海辺に親しめる海岸づくり、貴重な湿地、島等が育む渡り鳥等の野生生物の生態系ネットワークの保全を推進する。さらに、昨今、地球温暖化の進行による生態系等への影響が危惧される中で、日本海沿岸地域にあっても顕在化する大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組みを強化することを目的としている。

### (1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

#### ① 山岳地域の自然環境の保全

[継続的な取組み]

##### ○立山・黒部地域の環境保全の取組み【富山県】

- ・立山におけるバスの排出ガス規制の継続的な実施

##### ○希少野生動植物の保護対策事業の推進（ライチョウ）

###### 【富山県】

- ・ライチョウ保護増殖検討会にオブザーバー参加
- ・第9次とやまのライチョウサポート隊を発足し、県民協働による保護活動を継続

###### 【石川県】

- ・環境省主催の「ライチョウ保護増殖検討会」にオブザーバー参加
- ・環境省の保護増殖事業でいしかわ動物園がライチョウの人工繁殖に取り組み、3羽が成育

###### 【中部森林管理局】

- ・高山植物等保護パトロールを実施

##### ○温暖化影響モニタリング調査の実施【石川県】

- ・クロユリをはじめとする高山植物の開花日のモニタリング調査や植生、昆虫、地表面温度等の調査（調査実施回数：6回）

##### ○手取川水系一貫治水【北陸地方整備局】

- ・直轄河川改修事業により合流点処理対策を推進

##### ○神通川、手取川、九頭竜川等における流域一体での総合的な治山治水対策【北陸地方整備局】

- ・直轄河川改修事業により、流下能力対策・侵食対策を推進
- ・神通川堤防整備（嵩上げ、拡幅）及び浸食対策の推進
- ・神通川水系直轄砂防事業（江馬東町砂防堰堤群）の推進
- ・手取川 西川・熊田川合流点処理の推進
- ・手取川水系直轄火山砂防事業（柳谷中流砂防堰堤群）の完成

##### ○黒部川土砂管理協議会の取組み【北陸地方整備局、関西電力】

<第56回黒部川土砂管理協議会>

- ・実施場所：黒部市生涯学習文化スクエア 1F 大ホール

- ・実施時期：R6 年 5 月 22 日（水）
- <第 57 回黒部川土砂管理協議会>
- ・実施場所：入善まちなか交流施設うるおい館 2F イベントホール
- ・実施時期：R7 年 2 月 17 日（月）
- 水質汚濁対策連絡協議会の開催【北陸地方整備局】
- ・富山一級水系水質汚濁対策連絡協議会による水質事故対策訓練を実施（R6. 11 月）
- 常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川大規模氾濫に関する減災対策協議会の設置【北陸地方整備局】
- ・手取川・梯川・石川海岸水防連絡会及び手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会（R7. 3 月）
- ・常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川等大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催（6 月）
- 砂防工事現場の安全対策・創意工夫の取組み【北陸地方整備局】
- ・令和 6 年度立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会（R7. 1 月）
- ・第 35 回金沢河川国道事務所建設労働災害防止大会（R6. 10 月）

## ② 自然環境保全に関する意識啓発

[継続的な取組み]

- 手取川アウトドア教室【北陸地方整備局】
- ・手取川アウトドア教室 2024（8 月）
- 小学生による水質調査【北陸地方整備局】
- ・熊野川水生生物・水質調査（R6. 6 月）

## (2) 日本海沿岸地域の環境保全

### ① 海岸景観の保全・再生

[継続的な取組み]

- 石川海岸直轄海岸保全施設整備事業【北陸地方整備局】
- ・石川海岸侵食・越波対策の推進（小松工区・片山津工区）
- 千里浜再生プロジェクト【石川県】
- ・海上投入（R6 年度：4.5 万 m<sup>2</sup>）←（R5 年度：3.5 万 m<sup>2</sup>[+1.0 万 m<sup>2</sup>]
- ・陸上養浜（R6 年度：1.0 万 m<sup>2</sup>）←（R5 年度：0.7 万 m<sup>2</sup>[+0.3 万 m<sup>2</sup>]
- 環日本海地域における環境保全の推進（漂流・漂着物調査）【富山県、（公財）環日本海環境協力センター（NPEC）】
- ・海辺の漂着物調査（R6 年度：実施海岸数 3 か国 11 自治体 32 海岸、参加人数 1,456 人）←（R5 年度：実施海岸数 3 か国 15 自治体 43 海岸、参加人数 1,824 人[±0 か国-4 自治体 -11 海岸、-368 人]
- クリーン・ビーチ・いしかわ清掃活動【クリーン・ビーチ・いしかわ実行委員会】
- ・海岸清掃活動、漂流物展示の実施（R6 年度：参加人数 50,501 人）←（R5 年度：48,808 人[+1,693 人]

## ② 野生生物の生態系ネットワークの保全

[継続的な取組み]

- 生物多様性保全に関する各種施策の推進(三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会)  
【中部地方環境事務所、福井県、若狭町、美浜町】
  - ・特定外来種等駆除数 (R6年度：1,214 個体) ← (R5年度：460 個体[+754 個体])
  - ・ヒシ刈り取り面積 (R6年度：1,995,000 m<sup>2</sup>) ← (R5年度：1,020,000 m<sup>2</sup>[+975,000 m<sup>2</sup>])
- 三方五湖の自然再生(三方五湖自然再生協議会)【中部地方環境事務所、福井県、若狭町、美浜町】
  - ・自然再生協議会 (R6年度：17 回開催) ← (R5年度：14 回開催[+3 回])
- 片野鴨池や三方五湖等の貴重な湿地の保全【中部地方環境事務所】
  - ・水路改修工事：南側水路改修 (L=80 m)、管理用道路設置 (L=80m)、北側進入防止柵塗装 (H2680、W2000) 一式

## ③ 大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組み強化

[継続的な取組み]

- 大型クラゲ対策の強化【福井県】
  - ・調査船による洋上調査
    - ・大型クラゲ目視調査(R6年度：3 回)←(R5年度：2 回[+1 回])
    - ・大型クラゲトロール調査(R6年度：1 回)←(R5年度：2 回[-1 回])
    - ・水中ビデオカメラによる調査(R6年度：1 回)←(R5年度：0 回[+1 回])
    - ・海洋観測 (流向流速・水温塩分) (R6年度：2 回)←(R5年度：2 回[±0 回])
  - ・情報発信 (ファックスおよびホームページ) (R6年度：12 回)←(R5年度：2 回[+10 回])
  - ・係留系観測：3 海域 (鷹巣：5 月～11 月、小樟：5 月～11 月、常神：5 月～11 月)
- 環日本海地域における環境保全の推進 (技術員の交流、北東アジア地域環境体験プログラム事業)【富山県、(公財)環日本海環境協力センター(NPEC)】
  - ・北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業 (オンライン開催) (R6年度：参加人数 3 か国 5 自治体 26 名)←(R5年度：参加人数 5 か国 10 自治体 51 名[-2 か国-5 自治体-25 名])

北アルプスの国有林において、希少な高山植物等の保護や山岳環境の美化を目的としたパトロールを継続して行っている。このパトロールは、昭和47年から毎年夏山繁忙期に行っており、富山森林管理署、地元自治体、山小屋関係者、運輸事業者等で構成する「国有林野保護管理協議会」がパトロール員を公募し、「立山」、「薬師岳・雲ノ平」、「黒部」、「白馬・朝日・北又」の4地区において実施している。

〈主な活動内容〉

- ・違反行為者への注意指導（登山道外への踏み込み、指定地外キャンプ、植物採取等）
- ・利用者へ高山植物等保護を呼びかける啓発活動（ストックキャップの着用等）
- ・高山植物等保護のための立入禁止柵（グリーンロープ）の整備
- ・植生被害の拡大防止（置き石による脇道の封鎖等）
- ・看板、道標等の補修
- ・ゴミの回収を中心とした山岳美化活動
- ・植生保護、登山者安全確保のための雪渓切り
- ・ライチョウの生息状況の記録
- ・登山道、看板等の状況確認

[美化活動]



[標識の擦れた文字の補修]



[グリーンロープの設置]



[利用者への普及啓発活動]



出典：令和6年度 高山植物等保護パトロール活動報告, 富山森林管理署

(<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu//toyama/attach/pdf/gurin1-13.pdf>)

■ 取り組み事例 生物多様性保全に関する各種施策の推進

継続的な取組

(三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会)

【中部地方環境事務所、福井県、若狭町、美浜町】

福井県の三方五湖周辺流域とその周辺地域において、「三方五湖自然再生協議会」を設立し、多様な主体による自然再生を実現するための取り組みを実施している。

「三方五湖自然再生協議会」は、6つの部会に分かれており、各部会にてそれぞれの目的に向かって活動している。

- ・ 自然護岸再生部会：魚介類の生息に適した自然護岸の再生
- ・ 湖と田んぼのつながり再生部会：水田などでのフナ等の育成や放流
- ・ 外来生物等対策部会：外来生物の捕獲・除去やヒシの除去対策
- ・ 環境に優しい農法部会：無農薬等による環境に優しい農法の認証・普及や濁水対策
- ・ 環境教育部会：学校教育との連携や環境教育プログラムの企画・実施
- ・ シジミのなぎさ部会：シジミの生息環境再生・整備や資源調査

[外来生物への対策（ワナの設置）]



[外来生物への対策（ワナ回収・カメの計測）]



出典：令和6年度の活動結果および令和7年度の事業計画, 三方五湖自然再生協議会

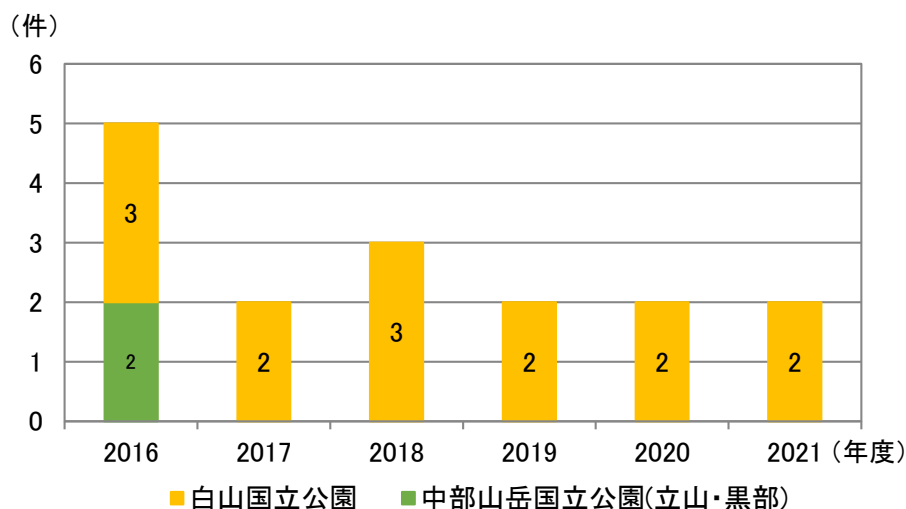
([https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shizen/mikata-goko/kyogikai\\_d/fil/R6saiseikyoku\\_shiryoul.pdf](https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shizen/mikata-goko/kyogikai_d/fil/R6saiseikyoku_shiryoul.pdf))

### (3) 計画の進捗状況

#### 1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

##### ■モニタリング指標：自然ふれあい行事の開催件数と参加人数(件、人)

白山国立公園では、2021年度(令和3年度)は2件(参加人数：33人)の自然ふれあい行事を開催しており、継続的に自然ふれあい行事を開催している。

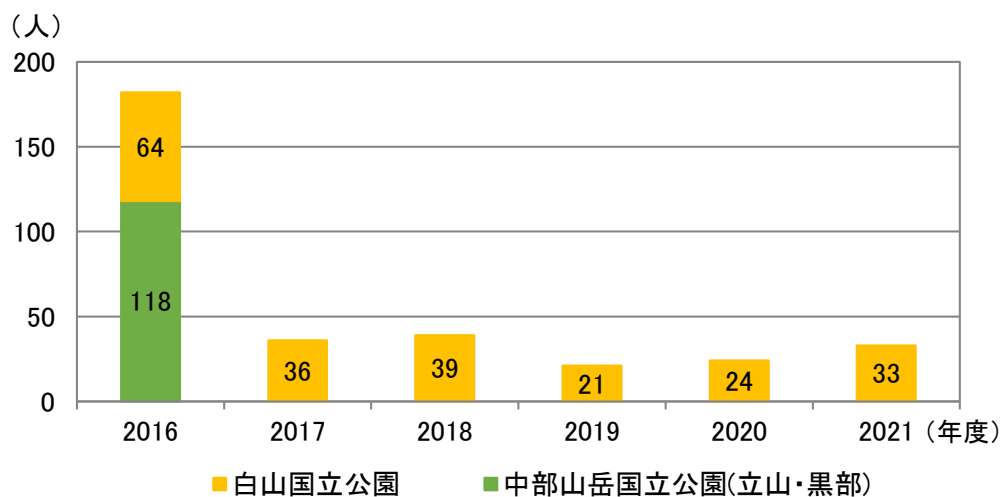


出典：中部地方環境事務所

図 40 自然ふれあい行事の開催件数の推移

(2022年12月末時点のデータ)

##### ■モニタリング指標：自然ふれあい行事の参加人数(人)



出典：中部地方環境事務所

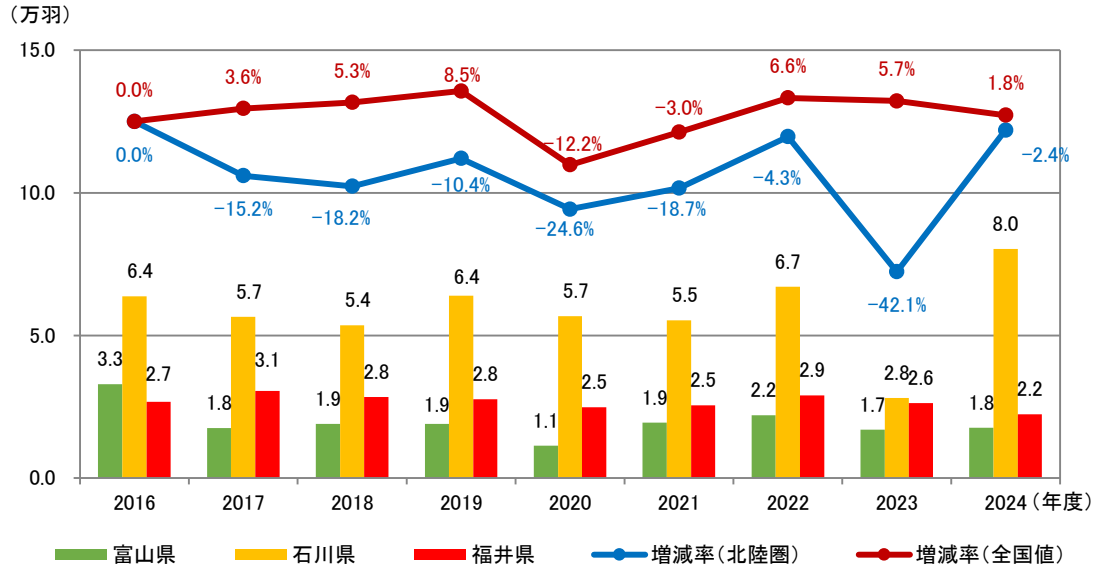
図 41 自然ふれあい行事の参加人数の推移

(2025年12月末時点のデータ)

## 2) 日本海沿岸地域の環境保全

### ■モニタリング指標：各県別の渡り鳥の飛来数（羽）

北陸圏の2024年度(令和6年度)における渡り鳥の飛来数は、2016年度(平成28年度)と比較すると2.4%減少した。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：環境省「ガンカモ類の生息調査」

図 42 渡り鳥の飛来数の推移

(2025年12月時点の公表データ)

## 2.1.5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏における原子力及びエネルギー分野の最先端技術の集積を活かして、他分野との連携や産学官連携等によるがん治療、次世代エネルギー、新品種開発等に活用される最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出に取り組む。また、先駆的なモデルとなる環境にやさしい暮らしの普及・定着を推進するとともに、エネルギー技術と環境技術の集積拠点を形成することを目的としている

### (1) 主な取組み状況

#### ① 最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出

[継続的な取組み]

- 福井県若狭湾エネルギー研究センターにおける先端的な研究の推進【福井県、(公財)若狭湾エネルギー研究センター】
  - ・県内外の大学や研究機関、企業との共同研究 (R6 年度: 54 件) ← (R5 年度: 59 件[-5 件])
  - ・原子力・エネルギー、環境関連技術分野での新たな製品化 (R6 年度: 4 件) ← (R5 年度: 1 件[+3 件])
- 地熱発電の推進【富山県】
  - ・立山温泉地域地熱資源開発調査: 有効性が期待できる新技术の情報収集
  - ・バイナリー発電導入の可能性調査: 魚津地域での地表調査を実施
- 発電所の大規模改良 (リプレース)【富山県】
  - ・若土発電所の運転開始
    - ・発電所位置: 富山市山田若土地内
    - ・利用河川名: 神通川水系 山田川
    - ・最大出力: 335kW (年間発電電力量: 約 160 万 kWh) (R6 年度)
    - ・運転開始: R6 年 8 月
  - ・老朽化した県営水力発電所 (3 箇所) について、固定価格買取制度 (FIT) を活用したリプレースに着手

#### ② 環境にやさしい暮らしの普及・定着に向けた取組み

[継続的な取組み]

- 環境モデル都市について計画に基づき事業を推進【富山市】(令和 5 年度末で計画期間終了)
- 富山市エコタウン事業について計画に基づき事業を推進【富山市】
- とやまエコ・ストア制度の推進【富山県】
  - ・レジ袋無料配布廃止や資源物の店頭回収、プラスチックトレイの削減・転換など県民と協働で環境配慮行動に取り組む小売店舗を登録
- いしかわモデルのメタン発酵技術の推進【石川県】
  - ・県 HP での公開
  - ・地方自治体や大学、民間企業等の施設見学を受入
- 地球環境の保全、資源エネルギーの有効利用に関する普及啓蒙活動 (北陸環境共生会議による循環型社会・低炭素社会の実現に向けた取組み継続)【北陸環境共生会議 (富山県、石川

県、福井県、北陸経済連合会で構成)】

【富山県】

- ・とやま環境フェア 2024 を開催し一般県民への普及啓発を実施

【石川県】

- ・いしかわ環境フェア 2024 を開催し一般県民への普及啓発を実施

○中部エネルギー・温暖化対策推進会議【中部経済産業局、中部地方環境事務所】

- ・H17年4月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」において、「地域エネルギー・温暖化対策推進会議」を各地域ブロックごとに設置すると定められ、当地域では「中部エネルギー・温暖化対策推進会議」を設置して毎年度開催
- ・R7年2月13日に第20回中部エネルギー・温暖化対策推進会議をハイブリット形式で開催

○近畿エネルギー・温暖化対策推進会議【近畿経済産業局、近畿地方環境事務所】

- ・近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議とは、近畿地域において国の地方支分部局、域内の地方公共団体、エネルギー関係者等をメンバーとして、近畿地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する情報交換・共有や、エネルギー需給構造に関する実態把握等を図り、地方公共団体を始め近畿地域の地球温暖化対策に関する自主的な取組みを促進するために、H17年3月31日に設置し、「近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議」を毎年度開催
- ・R6年1月30日に第20回近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議を開催し、経済産業省、環境省、国の地方支分部局、自治体、エネルギー関係機関等が出席し、近畿地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する情報交換・共有を実施

## ■取組み事例 発電所の大規模改良（リプレース）【富山県】

継続的な取組

富山県では、建設から50年以上が経過している発電施設を対象にリプレース（発電所全面的更新）を実施しており、老朽化した施設を新しくするとともに、より多くの再生可能エネルギーを供給するため、高効率化や使用水量、最大出力などの最適化による増電力量に取り組んでいる。

### [若土発電所]

- ・昭和57年の運転開始以来、ダムの堆砂が進み取水に支障が出ていたほか、水車発電機の故障が頻発していたことから、全面的更新（リプレース）を実施した。
- ・ダム堤体に影響を及ぼさないよう取水塔を新設したほか、2年半にわたる工事期間中、農業用水の供給を断たないよう水の切り回しを行うなど工夫している。

発電所位置：富山市山田若土地内

利用河川名：神通川水系 山田川

最大出力：335kW（年間発電電力量：約160万kWh）（R6年度）

運転開始：令和6年8月



[若土発電所の全景]



[発電設備（リプレース前）]



[発電設備（リプレース後）]

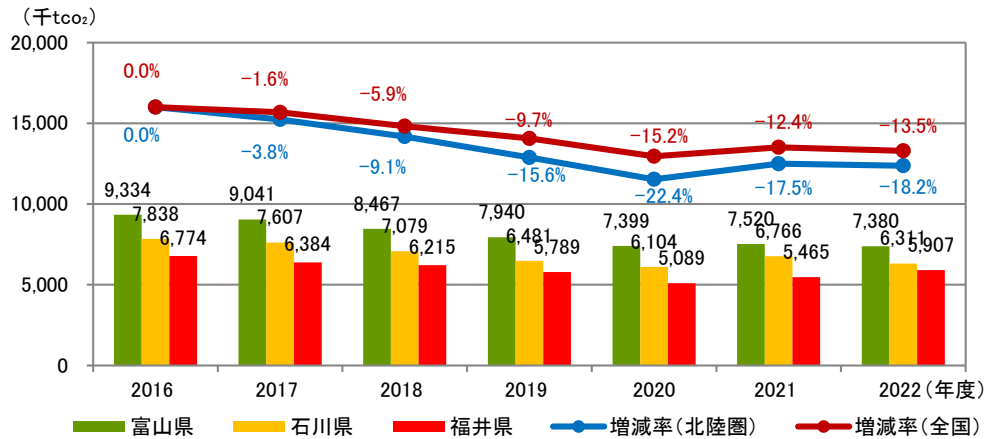
出典：発電所老朽化対策事業（リプレース），富山県企業局電気課

(<https://www.pref.toyama.jp/7104/kendodukuri/jougesuidou/suidou/hatsudensho/kj00000638.html>)

(2) 計画の進捗状況

■モニタリング指標：①エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量（人口 1 人あたりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量）

北陸圏の 2022 年度(令和 4 年度)における人口 1 人あたりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量は、2016 年(平成 28 年度)と比較すると 18.2%減少しており、全国値(13.5%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

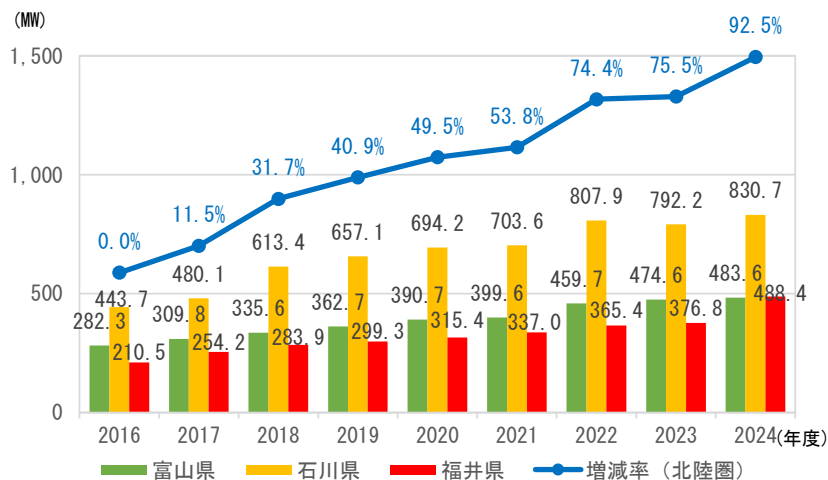
出典：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」(2022 年度は暫定値)

図 43 エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量（人口 1 人あたりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量）の推移

(2025 年 12 月時点の公表データ)

■モニタリング指標：②再生可能エネルギー設備認定状況

北陸圏の 2024 年度(令和 6 年度)における再生可能エネルギー設備認定状況(導入容量)は、2016 年度(平成 28 年度)と比較すると 92.5%増加している。2024 年度(令和 6 年度)の北陸 3 県の中で最も導入容量が多いのは石川県(830.7MW)である。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：資源エネルギー庁「都道府県別再生可能エネルギー設備認定状況」

(「新規認定分」と「移行認定分」の合計値)

図 44 再生可能エネルギー設備認定状況（導入容量）の推移

(2025 年 12 月時点の公表データ)

## 2.1.6 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の有する三大都市圏や環日本海諸国を始めとする東アジアに対する地理的な優位性を活かして、日本海側の産業・物流の中枢拠点機能を強化するため、地域レベルでは日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化、三大都市圏や環日本海諸国レベルでは近接性を活かした東アジア等の諸外国に展開する国際物流機能の強化を推進することを目的としている。

### (1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

#### ① 医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成に向けた取組み

[継続的な取組み]

- 地域中核企業創出・支援事業「生活習慣病の予防・改善を目的とした公的保険外サービス関連企業ネットワーク創出・支援事業、とやまヘルスケア・スマートライフ産業創出支援事業、IoT等活用型高齢化対策ライフサイエンス支援事業」【中部経済産業局】
  - ・経済産業省 地域デジタル人材育成・確保推進事業
  - ・ライフサイエンス・ヘルスケア分野関連事業者と、デジタル人材の育成およびDXをテーマとしたイベント：2回
- 地域中核企業創出・支援事業「北陸地域高機能新素材先端ものづくり支援事業（ネットワーク型）、超低コスト小規模水素ステーションのシステム構築（ハンズオン型）」【中部経済産業局】
  - ・経済産業省 地域デジタル人材育成・確保推進事業
  - ・高機能新素材分野関連事業者と、デジタル人材の育成およびDXをテーマとしたイベント：2回
- とやま中小企業チャレンジファンド【(公財)富山県新世紀産業機構】
  - ・助成件数、助成金額（R6年度：8件、19,840千円）←（R5年度：12件、28,759千円[-4件、-8,919千円]）（H19～R6合計 助成件数：197件、助成金額：703,415千円）
- いしかわ産業化資源活用推進ファンド
  - ・新商品開発・販路開拓（R6年度：34件）←（R5年度：48件[-14件]）
  - ・事前調査（R6年度：12件）←（R5年度：7件[+5件]）
  - ・海外販路拡大枠（R6年度：19件）←（R5年度：23件[-4件]）
  - ・社会課題解決（R6年度：9件）←（R5年度：6件[+3件]）
- 「ふくいの逸品創造ファンド」による地域貢献産業の創出【(公財)ふくい産業支援センター】
- 北陸高機能新素材クラスター構想【石川県、(公財)石川県産業創出支援機構】
  - ・コンポジットハイウェイコンベンションの開催（R7年1月16日、金沢市地域産業振興センター）

#### ② 北陸圏の産業ニーズを踏まえた人材育成・人材確保及び産学官や異分野連携等による中小企業の活性化

[継続的な取組み]

○伝統工芸職人塾（伝統工芸の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、伝統的工芸品の知名度向上と需要拡大を図る。）【越前ものづくりの里プロジェクト協議会】

・長期塾生（R6年度：15人（漆器2、和紙4、打刃物5、焼3、箆笥1）←（R5年度：17人（漆器6、和紙4、打刃物2、焼2、箆笥3）[-2人]）

・短期塾生（R6年度：12人（漆器6、打刃物5、箆笥1）←（R5年度：6人（和紙1、和紙1、打刃物4）[+6人]）

・就業者（R6年度：9人）←（R5年度：12人[-3人]）

○ものづくり中小企業等の人材確保支援（ものづくり中小企業等が若者・女性・シニア等の多様な人材を確保・定着できるよう支援）【中部経済産業局】

<地域の人事部推進事業>

・地域の人事部（地域の関係機関が、各々の強みを活かし、一体となって面的に地域の中小企業等の人材確保支援を実施する体制）の取組の普及のため、周知セミナーやモデル地域支援等を実施

<デジタル人材確保・育成等事業>

・経営課題を明確化しDX戦略の策定支援を行うとともに、DX推進と組織への浸透に必要なデータ活用スキルの習得や、DXの推進に必要な人材の確保・育成及び組織開発を支援するため、セミナーやワークショップ、マッチングイベント等を実施

<多様な人材確保等支援事業>

・経営支援機関の地域の中小企業等を支援する力を向上させるため管内の支援機関むけ人材活用ガイドラインの周知セミナー・活用実践ワークショップ等を実施

・中小企業等の人材採用戦略として就職・転職を希望する就職氷河期世代人材及び女性、シニア、外国人等の多様な人材を確保する意識の醸成及びマッチングイベント等を実施

○地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業（中小企業等が若者・女性・シニア等の多様な人材を確保・定着できるよう支援）【近畿経済産業局】

<中小企業の魅力発信>

・大学の講義に中小企業がゲストスピーカーとして登壇し、中小企業の魅力を発信（R6年度：福井県1社登壇122名参加）←（R5年度：福井県2社登壇154名参加[-1社、-32名]）

<中小企業の人材確保に係るセミナー及びマッチング支援事業>

・人材戦略セミナー（R6年度：福井県内7社参加）←（R5年度：福井県内2社参加[+5社]）

・副業人材活用セミナー（R6年度：福井県内1社参加）

・採用力向上セミナー（R6年度：福井県内1社参加）←（R5年度：福井県内21社参加[-20社]）

・広域型マッチング（R6年度：福井県内1社、525名の求職者が参加）←（R5年度：福井県内5社、579名の求職者が参加[-4社、-54名]）

・氷河期世代特化型マッチング会（R6年度：福井県内1社、178名の求職者が参加）←（R5年度：福井県内21社、45名の求職者が参加[-20社、+133名]）

○モノ作り基盤技術の高度化支援【近畿経済産業局、中部経済産業局、石川県、富山県】

- ・成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）（R6 年度：採択件数 7 件（富山県 1 件、石川県 3 件、福井県 3 件）←（R5 年度：採択件数 5 件（富山県 1 件、石川県 2 件、福井県 2 件） [+2 件]）

(2) 三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

① 広域的な産業連携を通じた国際物流機能の強化

[継続的な取組み]

○インセンティブ等を活用した積極的なポートセールスによる港の利用促進

【富山県】

<海外ポートセールス>

- ・ソウル・上海ポートセールス訪問団（R6 年 1 月 14 日（火）～18 日〔土〕）

<商談会でのポートセールス>

- ・海外バイヤー招へい商談会（R6 年 7 月 18 日（木）、1 月 23 日（木））

<伏木富山港利用促進セミナー等の実施>

- ・伏木富山港現地視察会（R6 年 8 月 8 日（金））
- ・関西物流展 2024 出展（4 月 10 日（水）～4 月 12 日（金））
- ・伏木富山港利用促進セミナー in 東京（11 月 14 日（木））
- ・国際物流総合展 2024 出展（9 月 10 日（火）～13 日（金））

○伏木富山港（新湊地区）国際物流ターミナルの整備

【北陸地方整備局】

- ・伏木富山港（新湊地区）ふ頭再編整備事業の推進

【富山県】

- ・国際物流ターミナル同時接岸同時荷役の推進

○金沢港（大野地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、石川県】

- ・国際物流ターミナル整備事業の推進

○七尾港（大田地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、石川県】

- ・国際物流ターミナル整備事業の推進

○敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、福井県】

- ・国際物流ターミナル整備事業の推進

② 国際物流機能を活かした環日本海交流の中核となる企業誘致

[継続的な取組み]

○港湾活用型企業の誘致及び集積【石川県、石川県土地開発公社】

- ・Web 会議等、誘致活動を実施

○対岸諸国と北陸地域との経済交流促進に向けての情報収集・発信【北陸経済連合会・北陸環日本海経済交流促進協議会】

【石川県】

- ・第 56 回日韓経済人会議（R6 年 5 月 14 日、15 日）参加者：217 名（日本側 110 名、韓国

側 107 名)

- ・ベトナム行政官の産業視察 (R6 年 10 月 25 日)
- ・北陸ベトナム相互企業進出促進協会総会 (R7 年 2 月 10 日) 参加者 : 30 名
- ・第 1 回海外現地情勢報告セミナー (R6 年 5 月 30 日) 参加者 : 51 名
- ・第 2 回海外現地情勢報告セミナー (R6 年 12 月 16 日) 参加者 : 34 名

#### 【北陸経済連合会】

- ・ベトナム行政官との経済交流会・産業視察会開催 (R6 年 10 月 24 日、25 日)
- ・海外現地情勢報告セミナー開催 (第 1 回 : ベトナム特集 R6 年 5 月 30 日、第 2 回 : 中国特集 R6 年 12 月 16 日)
- ・日韓経済人会議 (R6 年 5 月 14 日、15 日)
- ・北陸 (日本)・韓国経済交流会議 (R6 年 8 月 25 日~27 日)
- ・フィンランドに海外経済視察ミッション派遣 (R6 年 10 月 13 日~19 日)
- ・外国人留学生採用事例報告会&外国人留学生との交流会開催 (R6 年 8 月 8 日)
- ・留学生キャリア形成・地域定着促進イベント開催 (R6 年 12 月 4 日)
- ・特定技能外国人労働者に関する講演会 (R6 年 12 月 17 日)
- ・機関紙 Warm TOPIC (6 冊/年) による東アジアに関する情報の発信

### ③ 荷主に信頼される物流ネットワークの構築

[継続的な取組み]

○路面状況のリアルタイム映像など雪みち情報の提供

#### 【北陸地方整備局】

- ・「雪みちネットワーク富山」による冬期道路情報の提供
- ・富山河川国道事務所公式 X による道路情報の提供
- ・「みちなび石川」による冬期道路情報の提供
- ・金沢河川国道事務所公式 X による道路情報の提供
- ・「おしえて！雪ナビ」ホームページによる情報提供
- ・「雪のトップランナー」ホームページによる情報提供

#### 【富山県】

- ・「富山県冬期道路情報」による冬期道路情報の提供
  - ・路面監視カメラ、積雪センサー、路面凍結センサーを設置することにより、気象情報、路面情報をリアルタイムに収集し、インターネットにより情報を提供 (R6 年度 : 路面監視カメラ 167 箇所、積雪センサー 32 箇所、路面凍結センサー 26 箇所、アクセス数 2,868,714 件) ← (R5 年度 : 路面監視カメラ 161 箇所、積雪センサー 32 箇所、路面凍結センサー 26 箇所、アクセス数 2,221,903 件 [+6 件、±0 件、±0 件、+646,811 件])

#### 【石川県】

- ・冬期間の道路画像や積雪・気温の情報を、県 HP 『石川の雪みちなび』にて、パソコンやスマートフォンを通じ広く情報提供

○伏木富山港 (新湊大橋等) (新湊地区・伏木地区) (臨港道路の整備) 【富山県】

- ・伏木地区 臨港道路伏木外港 1 号線の改良整備

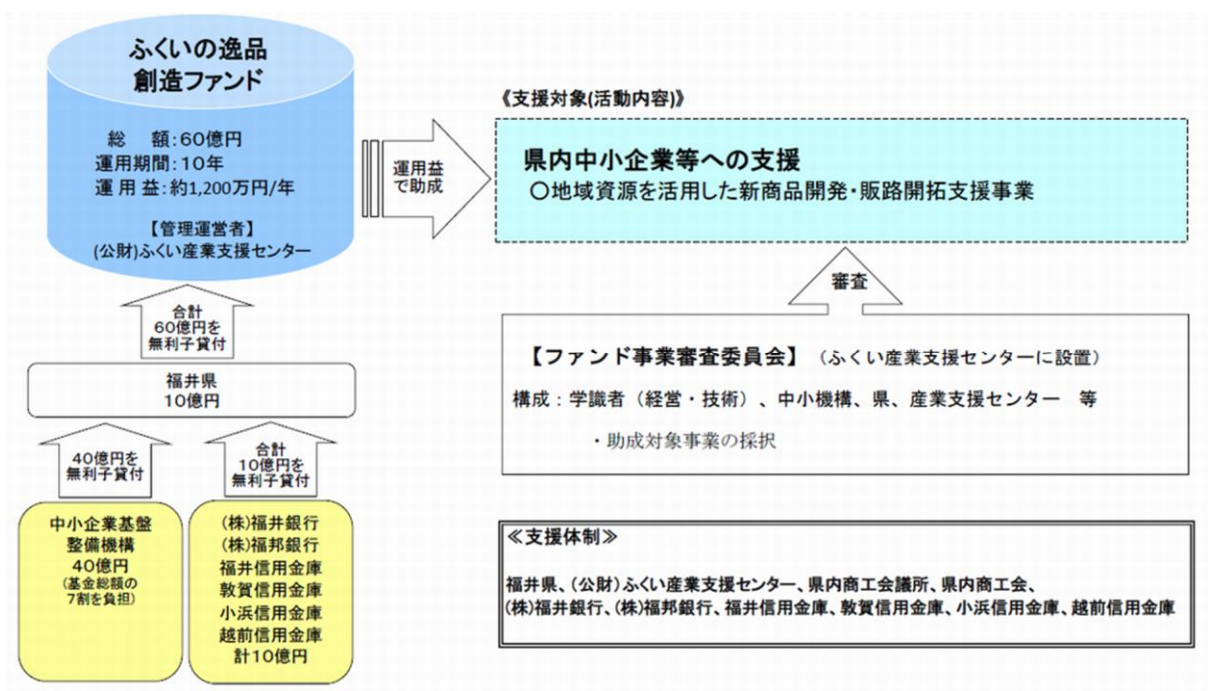
■取組み事例 ふくいの逸品創造ファンドによる地域貢献産業の創出  
【福井県】

継続的な取組

○ふくいの逸品創造ファンド事業

福井県では、地域の産業技術、農林水産物、観光資源等の「ふくいの強み」を活かした新商品・新サービス（ふくいの逸品）を開発し、県内外の顧客を獲得する取組みを促進するため、中小機構、県、県内金融機関による総額 60 億円の「ふくいの逸品創造ファンド」（基金）を創設している。この運用益を活用し、中小企業等が行う創意工夫ある取組みに対し、新商品・新サービスの開発・販路開拓について助成を行っている。

[事業イメージ]



出典：地域資源を活かした商品開発等に対する助成金（逸品創造ファンド事業等）について、福井県  
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sansei/ippinfund.html>

■取組み事例 敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナルの整備  
【北陸地方整備局、福井県】

継続的な取組

敦賀港は、日本海側で唯一、北海道と九州を結ぶRORO船航路が就航し、関西・中京圏の物流を支えるとともに、外貿定期コンテナ航路が就航し、地域の経済活動を支えており、将来の需要予測を見込んだRORO船の大型化に対応するため、鞠山南地区の複合一貫輸送ターミナルの整備を推進する。

内航RORO船の大型化への対応やユニットロード貨物の鞠山南地区への集約は、「物流 2024 年問題」やトラックドライバー不足等の課題解決に向けたモーダルシフトを促進及び増大する海上物流のニーズへの対応など、地域産業の競争力強化を図り、地域経済の安定と発展につながるほか、耐震強化岸壁として整備することにより、サプライチェーンの強靱化、災害対応力の強化を図る。



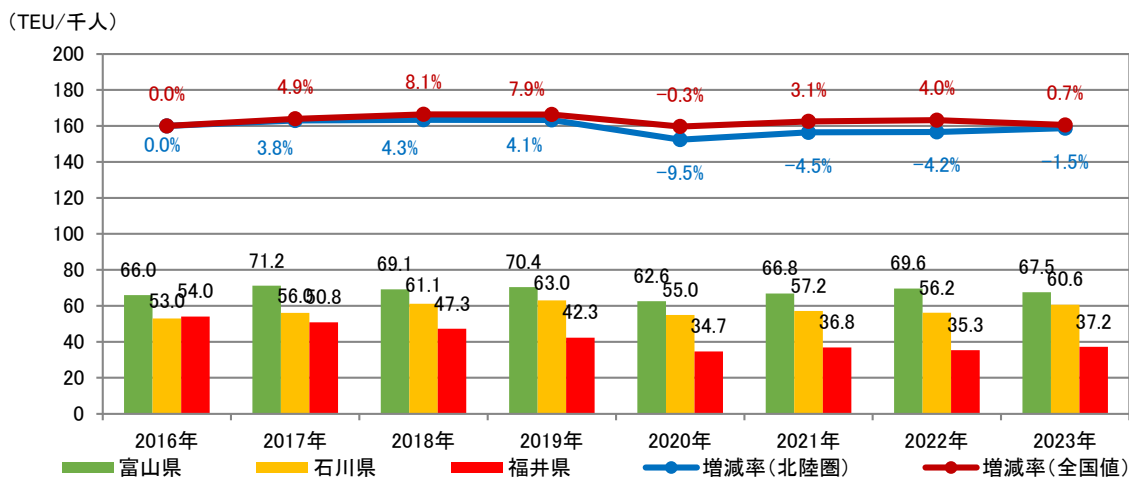
出典：北陸地方整備局資料

(3) 計画の進捗状況

1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

■モニタリング指標：外貿コンテナ取扱個数（人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数）

北陸圏の2023年(令和5年)における人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数は、2016年(平成28年)と比較すると1.5%減少しており、全国は0.7%増加している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」総務省「人口推計」

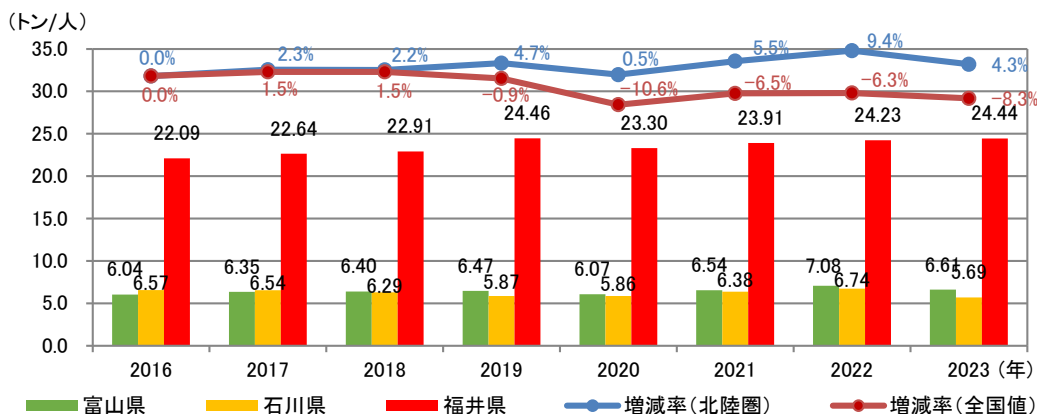
図 45 外貿コンテナ取扱個数（人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数）の推移

(2025年12月時点の公表データ)

2) 環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

■モニタリング指標：港湾の取扱貨物量（人口1人あたり港湾の取扱貨物量）

北陸圏の2023年(令和5年)における人口1人あたり港湾の取扱貨物量は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.3%増加しており、全国値は2023年(令和5年)に8.3%減少している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」総務省「人口推計」

図 46 港湾の取扱貨物量（人口1人あたり港湾の取扱貨物量）の推移

(2025年12月時点の公表データ)

## 2.1.7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の豊かな自然環境と水資源が育む、豊かで多様な農林水産資源や食文化を活かして、富山・加賀・福井平野を中心とした高生産性優良農業地域において、担い手の育成と担い手への農地の利用集積・集約化を図るとともに、農業水利施設の適切な保全管理、計画的かつ効率的な補修、更新等による施設の長寿命化を行うなど、良好な営農条件の確保により、圏域の食料供給力を強化する。また、消費者に信頼される高品質な「北陸ブランド」を構築し、知名度の向上や食関連産業を強化するとともに、国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充の促進、さらには、農水産物の圏域内における地産地消の推進による自給率の向上を図ることを目的としている。

### (1) 食料供給力の強化

#### ① 良好な営農条件の確保

[継続的な取組み]

- 担い手への農地集積・集約化を促進するための支援（農地中間管理事業等）【北陸農政局】
  - ・R6年度における担い手への農地利用集積率は68.8%となり全国平均61.5%を上回った。
  - ・農地の大区画化や排水対策、農業水利施設の整備等を行うとともに、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進
    - ・農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業）（R6年度：富山県58地区、石川県44地区、福井県25地区）←（R5年度：富山県54地区、石川県42地区、福井県18地区[+4地区、+2地区、+7地区]
    - ・農業競争力強化基盤整備事業（水利施設等保全高度化事業）（R6年度：富山県16地区、石川県10地区、福井県14地区）←（R5年度：富山県12地区、石川県11地区、福井県9地区[+4地区、-1地区、+5地区]
  - ・農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積の推進や高収益作物への転換を図るための計画策定や基盤整備、営農定着に必要な取組みを一括支援
    - ・農地耕作条件改善事業（R6年度：富山県20地区、石川県24地区、福井県9地区）←（R5年度：富山県11地区、石川県16地区、福井県15地区[-1地区、+8地区、-6地区]
- 農地等の防災対策【北陸農政局】
  - ・農地の湛水被害軽減など災害の未然防止のため農村地域防災減災事業を推進（R6年度：富山県35地区、石川県68地区、福井県26地区）←（R5年度：富山県51地区、石川県54地区、福井県28地区[-16地区、+14地区、-2地区]
- 土地改良施設管理の強化【北陸農政局】
  - ・基幹水利施設管理事業（特別型）：都道府県が行う一定規模以上の国営造成施設の管理
  - ・基幹水利施設管理事業（一般型）：市町村等が行う基幹的な国営造成施設の管理
  - ・国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業（機能保全計画策定事業）  
国営土地改良事業で造成された基幹的農業水利施設について、機能診断の実施（R6年度：3地区（石川県3地区））←（R5年度：1地区（福井県1地区）[+2地区]

○農業水利施設の保全管理・整備を推進【北陸農政局】

- ・国営かんがい排水事業
- ・国営農地再編整備事業
- ・国営総合農地防災事業

② 農林水産業の担い手の育成

[継続的な取組み]

○担い手（認定農業者、集落営農組織）の育成・確保を推進【北陸農政局】（R6年度：集落営農組織 1,555 組織）←（R5年度：集落営農組織 1,482 組織[+73 組織]）

- ・認定農業者制度の適切な運用を図るため、Web、メール等を活用して県や市町村等への情報提供を支援
- ・集落営農の組織化・法人化を促進するため、各県に農業経営相談所を整備し、支援

○経営所得安定対策等の着実な推進【北陸農政局】

- ・対象農業者等への制度内容・交付申請手続の説明、パンフレットの作成・配布により、加入申請が円滑に行われるよう対応

(2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

① 「北陸ブランド」の構築

[継続的な取組み]

○6次産業化に取り組む農林漁業者への支援【北陸農政局】

- ・6次産業化事業計画認定件数（R6年度：1件（石川県1件））←（R5年度：0件[+1件]）

○北陸の食に関する情報発信 Webサイト「知られざる北陸の食」【北陸経済連合会・北陸広域観光推進協議会共同事業】

- ・Webサイト「北陸物語」HP, Facebook, Instagram に集約し活動を継続
- ・「食」の他「自然」「歴史」「伝統」「文化」「心」「温泉」のカテゴリーに分けての魅力発信
- ・地元ライターによる独自の視点からの情報発信
- ・「今行ける能登」の情報発信（HP、SNS）
- ・雑誌「ゆうゆう」北陸旅行特集、BSテレ東ドラマ「ワカコ酒」への協力

② 国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充

[継続的な取組み]

○輸出促進対策事業（海外への輸出を志向する農林業業者・食品事業者等に対して、海外における販売促進活動を支援する）【北陸農政局】

- ・食品の輸出の検討や更なる輸出拡大を目指す事業者を対象に、自社の輸出に向けた課題整理、輸出アクションプラン作成を支援するためのセミナー及びワークショップを開催
  - ・第1回セミナー&ワークショップ
  - ・第2回ワークショップ

③ 地産地消の推進

[継続的な取組み]

○ディスカバー農山漁村（むら）の宝の選定【北陸農政局】

北陸管内選定（R6年度：3件（石川県1件、福井県2件）←（R5年度：4件（富山県3件、福井県1件）[-1件]）

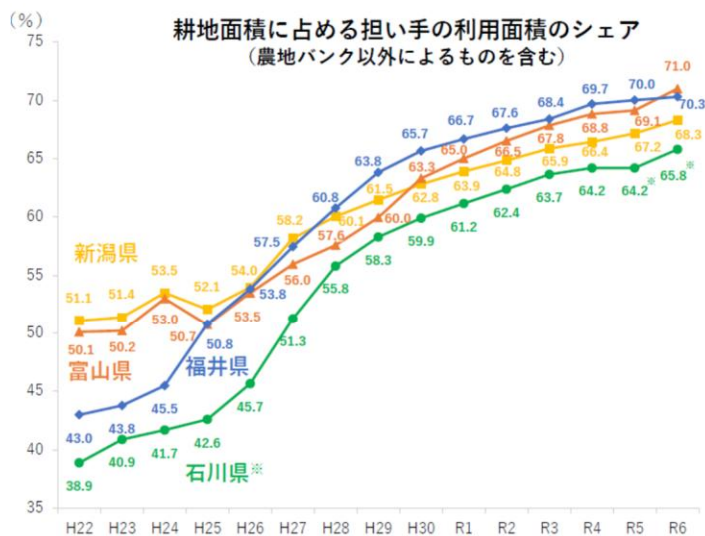
※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、令和3年度まで実施の「地産地消等優良活動表彰」が令和4年度より統合されたもの

■取組み事例 担い手への農地集積・集約化を促進するための支援  
 (農地中間管理事業等)【北陸農政局】

継続的な取組

農業の高齢化が進む中で、担い手への農地利用の集積・集約化を図って行くことが喫緊の課題となっている。このため、農地の公的な中間的受け皿として、県段階に農地中間管理機構が整備され、農地中間管理事業の活用を柱に担い手への農地利用の集積・集約化を進めている。

[北陸管内(県別)の農地集積の状況]



富山県	71.0%(対前年度+1.9%、+773ha)
福井県	70.3%(対前年度+0.3%、+30ha)
新潟県	68.3%(対前年度+1.1%、+1,476ha)
石川県*	65.8%(対前年度+1.6%、+46ha)

令和6年度集積率 上位都道府県(全国)

順位	都道府県	担い手への集積面積(ha)	集積率(R6)	増減
1	北海道	1,052,446	92.5%	0.7%
2	山形県	81,351	71.9%	0.8%
3	秋田県	104,287	71.6%	0.4%
4	佐賀県	35,405	71.4%	0.5%
5	富山県	40,736	71.0%	1.9%
6	福井県	27,753	70.3%	0.3%
7	滋賀県	34,281	69.1%	1.3%
8	新潟県	113,762	68.3%	1.1%
9	石川県	25,984	65.8%	1.6%
10	宮城県	81,126	65.5%	1.6%

※ 石川県においては、能登半島地震等の影響を踏まえ、令和6年度においては七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町の6市町で調査を休止し、令和4年度の集積面積を用いて集積率を算出している。また、令和5年度は県全体で調査を休止したため、令和4年度の集積率を据え置いている。  
 (資料) 農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」(令和6年度版)  
 注: 各年度の3月末時点の数値

出典: 北陸における担い手への農地集積の実績等について(令和6年度), 北陸農政局  
 (https://www.maff.go.jp/hokuriku/keiei/attach/pdf/kikou-28.pdf)

○ディスカバー農山漁村（むら）の宝の選定

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものである。

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、令和3年度まで実施の「地産地消等優良活動表彰」が令和4年度より統合されたもの

[選定事例①] 株式会社 NOROSHI FARM（富山県魚津市）

- ・高齢化・鳥獣被害等による担い手不足など地域の課題にいち早く危機感を抱き、令和4年に農地の受け皿となる地域発の生産法人を設立。主カスタッフ（5名）は、平均年齢26歳と若手を中心
- ・自社の米を使った米粉のおやき、おにぎり弁当等を直売所、キッチンカーで販売



[平均年齢26歳の生産チーム]



[キッチンカーで米粉おやきを販売]

[選定事例②] 合同会社菅浜わくわく協働体（福井県美浜町）

- ・地域のコミュニティビジネスを行う組織として「合同会社菅浜わくわく協働体」を設立
- ・栽培、観光、商品開発、カフェ・一時預かり保育の運用の4部門で活動を展開



[参加する区民]



[地区で整備したツリーハウス]

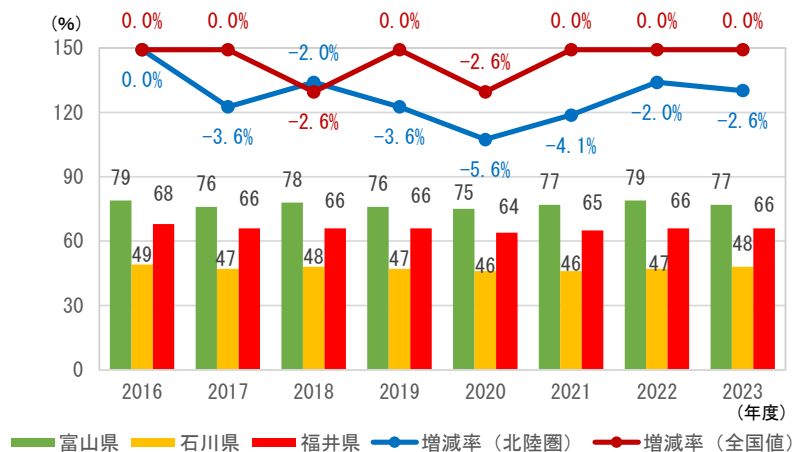
出典：令和6年度 北陸農政局管内の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」事例集, 北陸農政局  
 (<https://www.maff.go.jp/hokuriku/rural/kasseika/discover/attach/pdf/index-25.pdf>)

### (3) 計画の進捗状況

#### 1) 食料供給率の強化

##### ■モニタリング指標：食料自給率（カロリーベース：%）

北陸圏の2023年度(令和5年度)における食料自給率(カロリーベース)は、2016年度(平成28年度)と比較すると2.6%減少している一方で、全国値は同水準(±0.0%)である。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「都道府県別食料自給率の推移(カロリーベース)」※2022年度は概算値

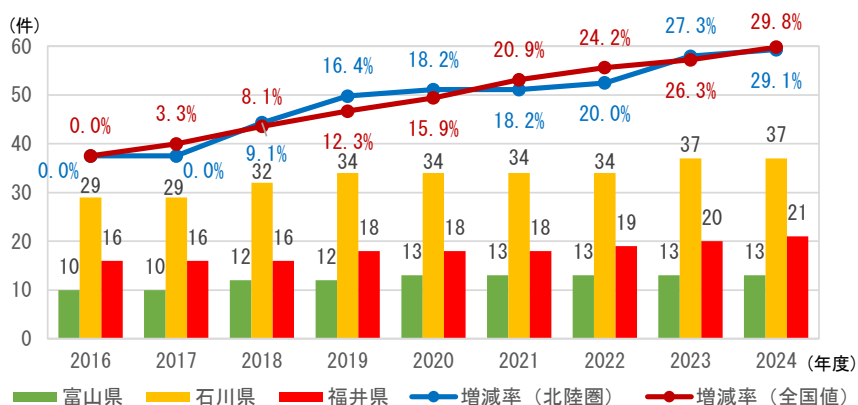
図 47 食料自給率(カロリーベース：%)の推移

(2025年10月時点の公表データ)

#### 2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路開拓・拡充

##### ■モニタリング指標：地域団体商標登録数

北陸圏の2024年(令和6年)における地域団体商標登録数は、2016年(平成28年)と比較すると29.1%増加しており、全国値(29.8%増加)とほぼ同程度である。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：特許庁「特許庁行政年次報告書」

図 48 地域団体商標登録数の推移

(2025年10月時点の公表データ)

## 2.1.8 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

本プロジェクトは、太平洋側で危惧される首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模災害時のバックアップ機能を担う広域的な防災支援体制の構築を推進することを目的としている。

### ① 防災ネットワークの構築

[継続的な取組み]

#### ○TEC-FORCE による防災支援【北陸地方整備局】

- ・令和6年能登半島地震及び石川県能登半島における大雨(R6年9月)に対する対応

#### ○災害対策用資機材情報の共有化【北陸地方整備局】

- ・石川県能登半島における大雨に係る災害派遣について (R6年9月)

#### ○多機関と連携した防災訓練

##### 【富山県】

- ・富山県総合防災訓練の実施(R6年9月29日)
  - ・実施場所：富山県黒部市、入善町、朝日町 (R6年度：参加人数 約12,000人) ← (R5年度 実施場所：富山県高岡市 参加人数 約2,000人[+10,000人])

##### 【石川県】

- ・石川県防災総合訓練の実施 (R6年11月10日)
  - ・実施場所：津幡町 (R6年度：参加人数 約14,281人) ← (R5年度 実施場所：石川県能登町 参加人数 約16,065人[-1,784人])

##### 【福井県】

- ・福井県総合防災訓練の実施 (R6年10月12日)
  - ・実施場所：小浜市 (R6年度：参加人数 約1,600人) ← (R5年度 実施場所：福井県坂井市 参加人数 約1,550人[+50人])

### ② リダンダンシーの確保

[継続的な取組み]

#### ○中部縦貫自動車道の整備促進

##### 【近畿地方整備局】

- ・大野油坂道路の整備を推進

令和6年度(第65回)石川県防災総合訓練は、地震及び風水害等各種災害の発生に際し、令和6年能登半島地震の経験・課題を踏まえ、災害応急対策に万全を期すため、災害対策基本法及び石川県地域防災計画並びに津幡町地域防災計画等に基づき、防災関係機関及び地域住民の参加のもと、総合的な防災訓練を実施し、関係機関等の連携強化を図るとともに、広く県民の防災意識の高揚を図ることを目的に実施された。

[実施日] 令和6年11月10日(日) 午前8時～12時

[実施場所] 津幡町

[参加機関及び参加人員]

- ・参加機関 約100機関
- ・参加人員 約14,000人(地元住民 約13,000人含む)

災害から身を守るために 支え合える地域を目指して

## 第65回 石川県防災総合訓練

一人一人の大切な命を守るために災害への備えについて  
防災訓練で確認しましょう。どなたでも参加可能です。

**日時** 11月10日(日) 9時～11時30分  
**場所** 津幡町一円  
津幡簡易グラウンド、条南小学校、中条公園 ほか

訓練項目

- ▶ ドローンを活用した緊急物資輸送訓練
- ▶ 実動機関による各種救出訓練
- ▶ 液状化の実験や起震車などの体験コーナー
- ▶ 炊き出し訓練(試食可)や防災の啓発・展示






※ 会場に駐車場はありません。車で来場の方は、津幡町役場、津幡南中学校、井上の荘1丁目調整池に停め、近くのシャトルバスを利用ください。

※ 訓練当日、中条公園は全面的に利用できません。(制限時間 7時～13時)  
また、許可車両以外は、園内道路や公園駐車場も利用できません。

出典：令和6年度石川県防災総合訓練, 石川県危機管理部危機対策課

([https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/bousai\\_g/bousaikunren/r6bousaikunren.html](https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/bousai_g/bousaikunren/r6bousaikunren.html))

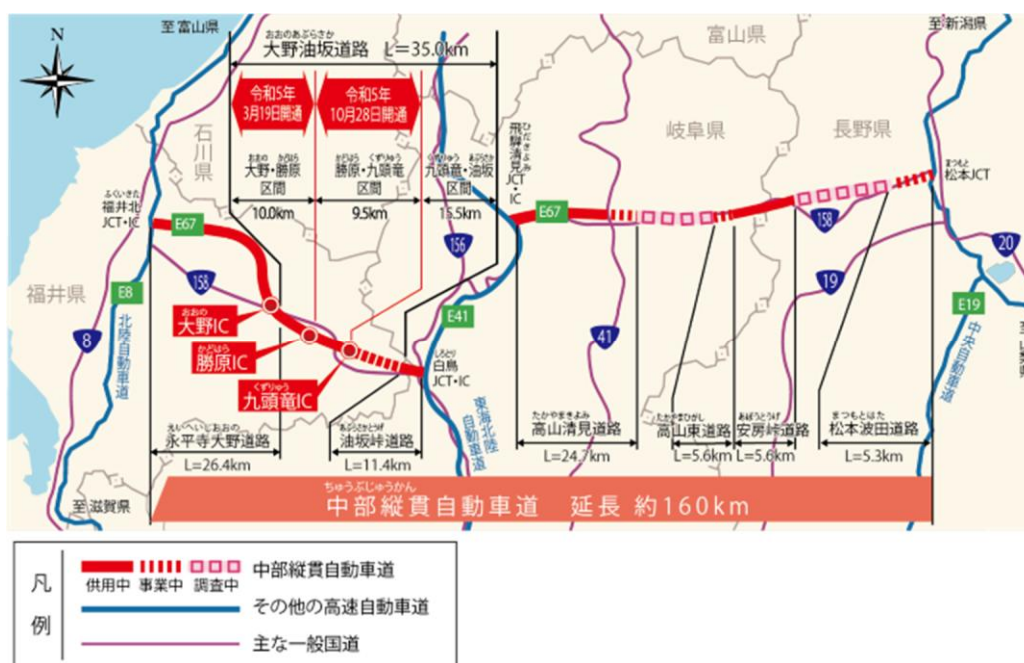
■取組み事例 中部縦貫自動車道の整備促進【近畿地方整備局】

継続的な取組

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約 160km の高規格幹線道路（自動車専用道路）であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としている。

大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、異常気象時の交通の確保、文化・地域の資源を生かした地域の活性化を目的とした自動車専用道路であり、大野油坂道路（延長 35.0km）の勝原 IC～九頭竜 IC 間の延長 9.5km が、R5 年 10 月 28 日に開通している。

現在、九頭竜 IC～油坂出口（仮称）の開通に向けて工事を推進している。



〔箱ヶ瀬地区（改良工事）〕



〔下半原地区（新林谷橋）〕

出典：大野油坂道路（和泉・油坂区間）（九頭竜 IC～油坂出入口）工事進捗状況（2024 年 11 月末現在），福井河川国道事務

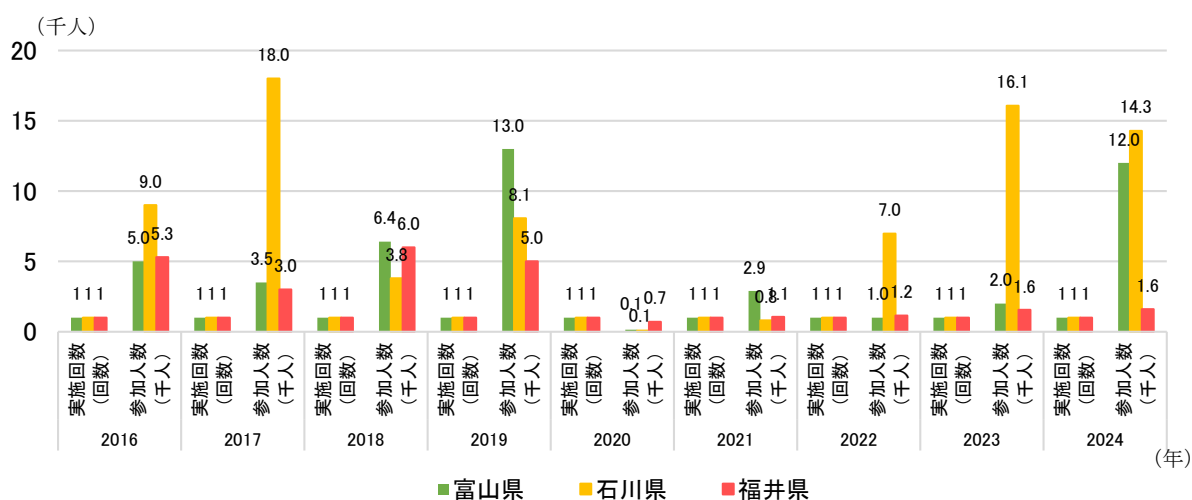
([https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/road/syokai/oonoyusaka/izumi\\_aburasaka.html](https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/road/syokai/oonoyusaka/izumi_aburasaka.html))

## (2) 計画の進捗状況

### ■モニタリング指標：広域的な防災訓練を実施した回数、参加人数の推移

北陸圏における広域的な防災訓練の実績は、下図の通りとなっている。また、2024年(令和6年)の実施状況は下記の通りとなっている。

- ・富山県では、黒部市、入善町、朝日町にて実施され、約12,000人が参加している。
- ・石川県では、津幡町にて実施され、約14,000人が参加している。
- ・福井県では、小浜市にて実施され、約1,600人が参加している。



出典：北陸地方整備局「実施状況把握表」

図 49 広域的な防災訓練を実施した回数、参加人数の推移

(2025年12月末時点のデータ)

## 2.1.9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の優れた地域資源及び北陸新幹線の開業等により充実する広域交通ネットワークを最大限活用し、国内外観光客の増加による地域活性化を図るため、北陸の各地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり、国内外観光客の効果的な誘客拡大を推進することを目的としている。

### (1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

#### ① 地域資源を活かした観光拠点の形成

[継続的な取組み]

##### ○ぶり街道推進協議会【富山市】

- ・ぶり街道ドライブ観光スポット情報発信（まっぷるマガジン）
- ・インバウンド WEB プロモーション事業

##### ○世界遺産暫定一覧表候補として構成資産の価値を高める取組み若狭の社寺建造物群と文化的景観【小浜市】

- ・名勝萬徳寺庭園書院屋根修理
- ・若狭彦神社保存修理

##### ○「立山・黒部」の世界文化遺産登録の推進【富山県】

- ・世界文化遺産登録に向け、調査・研究等を実施
- ・イコモス記念会合（「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録 10 周年記念国際シンポジウム）においてポスター展示

##### ○「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録の推進【富山県】

- ・世界文化遺産登録に向けた調査・研究等

##### ○「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」の世界文化遺産登録の推進【石川県】

- ・構成資産の理解を深める事業の実施
- ・加賀藩主前田家墓所環境整備（H22～）
- ・城下町金沢の文化遺産群と文化的景観関連視察セミナー

##### ○「霊峰白山と山麓の文化的景観」の世界文化遺産登録の推進

##### 【石川県】

- ・構成資産の理解を深める事業の実施
- ・白峰伝統的建造物群保存地区修理・修景（H29～）

##### 【福井県】

- ・構成資産の価値を高める事業の実施
- ・白山文化研究会の開催
- ・「かつやま歴探ブックレット2」の執筆と刊行

##### ○恐竜溪谷 100 万人構想【福井県】

- ・第 4 次恐竜化石発掘調査
- ・魅力的なテーマの企画展を開催

##### ○みなとオアシスの活動促進

- ・ホームページ『北陸みなとオアシス』の管理・運営により、イベント等を周知

- クルーズ船の受入環境整備【北陸地方整備局】
  - ・金沢港(大野地区)国際物流ターミナル整備事業の推進
- 石川県都市公園の整備(金沢城公園)【石川県】
  - ・二の丸御殿の復元整備工事に着手(素屋根建設工事等)

## ② 旅行者が何度も訪れたいとなる新たな観光形態の創出

[継続的な取組み]

- グリーンツーリズムの推進
  - 【富山県】
    - ・「とやま帰農塾」(R6年度:延べ64名参加) ← (R5年度:延べ68名参加[-4名])
    - ・子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業モデル地域の受入(R7年度に調査予定)
  - 【石川県】
    - ・グリーンツーリズムの普及啓発
    - ・農家民宿開業講座の実施(R6年度:受講者数15名、農家民泊数101軒) ← (R5年度:受講者数17名、農家民泊数103軒[-2名、-2軒])
- 観光地域づくり法人(DMO)の活動促進にかかる人材育成【北陸信越運輸局】
  - ・DMOの活動を促進するための有識者からの講演や意見交換会等を実施
- 北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクトの促進【北陸地方整備局、北陸信越運輸局】
  - ・新たな交流圏形成PJとして、北陸新幹線延伸、リニア中央新幹線開業などの交通ネットワークの拡充を活かし、新しい交流圏の形成を図り観光需要の拡大を促進
  - ・交流に必要な交通基盤等の整備や文化・学術・スポーツ交流の推進
  - ・新たな「ゴールデンルート」の形成に向けた広域観光ルートの造成や情報発信等の推進
- 若狭湾サイクリングルートの推進【福井県、敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、あおい町、若狭町、近畿地方整備局、福井県警、福井県サイクリング協会、JR西日本、商工会議所・商工会、観光協会等】
  - ・東勢地区におけるサイクリングルートの認知度向上および安全な走行環境の整備推進

## ③ 国内外観光客の利便性の向上に向けた受入環境づくり

[継続的な取組み]

- 観光情報の提供【石川県観光連盟】
  - ・観光客に対する情報提供の実施
- 受入環境整備事業【北陸信越運輸局】
  - ・災害時の観光施設等における避難所機能の強化に係る設備の整備を支援(石川県内)

### (2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

#### ① 多様な広域観光ルートの充実及びこれを支える広域交通基盤の強化

[継続的な取組み]

- クルーズ船の誘致促進

#### 【富山県】

- ・クルーズ船社、旅行会社等への誘致活動等の充実
- ・船社、旅行会社等を対象とした招請事業の実施
- ・海外見本市への出展
- ・歓迎式典、物販コーナー、観光案内所等の設置

#### 【石川県】

- ・クルーズ船の誘致強化と受入体制の整備、クルーズ人口拡大に向けた情報発信
- ・金沢港のクルーズ寄港数（R6年度：46本）←（R5年度：47本[-1本]）

#### 【福井県】

- ・クルーズ船社や代理店への営業活動
- ・クルーズ客船キーマン招聘
- ・海外展示会への出展
- ・クルーズ船寄港時の歓迎式典、物販・体験コーナー、観光案内所、伝統工芸ショップ等の設置

#### ○広域観光ルートの構築

#### 【富山県】

- ・海外有力旅行メディアを活用したオンライン記事広告を実施
- ・北陸新幹線を使った旅の魅力を発信するパンフレットを改訂

#### 【石川県】

- ・海外有力メディアを活用したオンライン記事広告
- ・沿線マップ（英語）の改訂
- ・米国旅行博出展 等

#### 【福井県】

- ・成田空港および羽田空港の訪日外国人向け JR 切符受け渡し所における旅中でのプロモーション
- ・北陸新幹線沿線の自治体や JR 等と連携し、新たなゴールデンルートの定着促進に向けたオンライン記事広告配信、国内ランドオペレーター向け商談会、海外旅行博出展等を実施
- ・東京都や北陸エリアで連携したオンライン広告配信や商談会の開催
- ・大阪・関西万博開催に向け、関西圏の自治体や企業等と連携したモニターツアーの実施、コンテンツの OTA 商品化、オンライン広告配信等
- ・大阪観光局と連携した広域観光ルートのプロモーション
- ・岐阜県高山市からのインバウンド誘客を目的としたモニターツアー

#### ○北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクトの促進【中部運輸局】

- ・北陸新幹線の敦賀延伸開業により、インバウンドの増加が期待されることからインバウンドの動向調査等受入環境整備に向けた事業を実施

## ② 広域連携による認知度向上及び誘客プロモーションの強化

[継続的な取組み]

○JRと地元が協力して行う観光誘致キャンペーン（デスティネーションキャンペーン）【富山県、石川県、福井県】

- ・北陸三県と三県並行在来線会社（あいの風とやま鉄道・IR いしかわ鉄道・ハピラインふくい）の連携により、あいの風とやま鉄道の観光列車「一万三千尺物語」が3日間限定で北陸三県を繋ぐ特別運行を実施

■取組み事例 石川県都市公園の整備（金沢城公園）【石川県】

継続的な取組

石川県では、石川県の歴史文化の象徴ともいえる金沢城公園において、平成13年完成の菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓をはじめとし、河北門、橋爪門二の門、令和2年の鼠多門・鼠多門橋の完成まで、本物志向の姿勢で復元整備の取り組みを進めてきた。

平成30年から復元に向け検討を重ねてきた二の丸御殿は、城の中心的な建造物であり、これまでの金沢城復元の総仕上げとも言えるものである。御殿の復元は、金沢城の価値や魅力の向上はもとより、次世代への技術の継承、令和6年能登半島地震で被災した職人の生業再建への寄与など、多面的な意義を有している。

復元整備は、儀礼や政務の場であった「表向（おもてむき）」のうち飾金具や障壁画など御殿ならではの装飾が見られる主要部を対象とし、令和6年度から玄関や式台周辺を対象とする第1期復元整備工事に着手している。



[第1期復元整備工事の範囲]



[玄関（整備イメージ）]



[虎の間（整備イメージ）]

出典：金沢城二の丸御殿の復元整備，石川県土木部公園緑地課

(<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kouen/siro/01seibikeikaku/ninomarugoten/ninomarugoten.html>)

■取組み事例 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

継続的な取組

【高付加価値インバウンド観光地づくり北陸エリア準備会】

福井県では、敦賀港・福井港へのクルーズ船の誘致を積極的に進めており、令和6年7月5日（金）に、海外クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が日本と韓国を巡る10日間のツアーの一環として、敦賀港に寄港した。

ダイヤモンド・プリンセスは、敦賀港鞠山南岸壁に着岸し、約2,900人の乗船客に対して、敦賀市内の保育園児や高校生からの歓迎を行うほか、岸壁では福井県の特産品の販売を実施した。また、敦賀市内の神楽通りや気比神宮では、おぼろ昆布の手すき体験や雅楽演舞の披露が行われた。



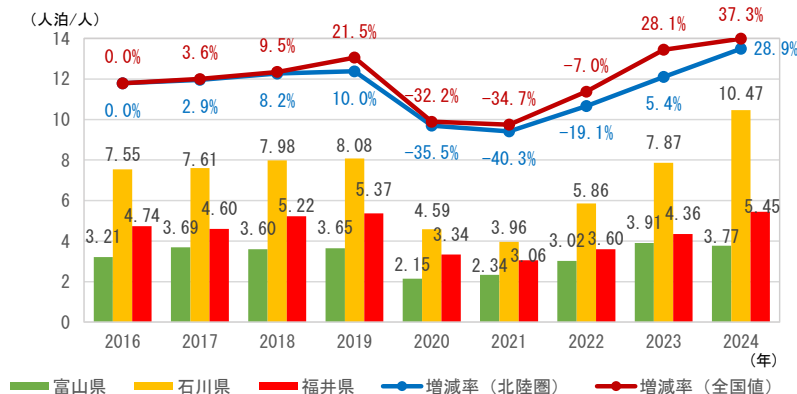
出典：ダイヤモンド・プリンセスが敦賀港に寄港しました。（令和6年7月5日（金）），福井県  
(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tu-kouwan/240705daipuri.html>)

### (3) 計画の進捗状況

#### 1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

##### ■モニタリング指標：宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）

北陸圏の2024年(令和6年)における人口1人あたり延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して28.9%増加し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった前年の2022年(令和4年)に対して大幅に増加している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図 50 宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）の推移

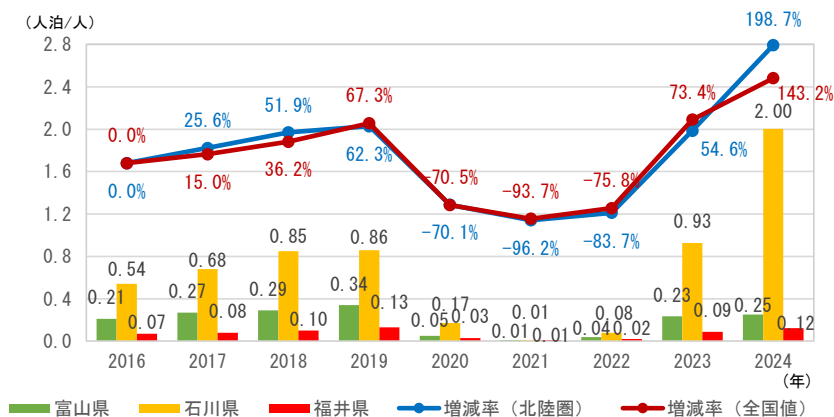
(2025年12月時点の公表データ)

#### 2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

##### ■モニタリング指標：①宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）※(1)と同じ指標のため省略

##### ■モニタリング指標：②外国人宿泊者数（人口1人あたり外国人延べ宿泊者数）

北陸圏の2024年(令和6年)における人口1人あたり外国人延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して198.7%増加しており、コロナ禍前の2019年(令和元年)よりも上回る水準まで回復傾向で、全国値(37.3%増加)もほぼ同様な傾向となっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図 51 外国人宿泊者数（人口1人あたり外国人延べ宿泊者数）の推移

(2025年12月時点の公表データ)

北陸圏広域地方計画の推進について

令和6年度 of 取組

令和8年●月

北陸圏広域地方計画推進室

〒950-8801 新潟市中央区美咲町 1-1-1

TEL 025-280-8880(代表)